

trends

trends

Inspirations JAPAN

by Dentsply Sirona Treatment Centers

Inspirations
JAPAN



BT0001KL

by Dentsply Sirona Treatment Centers

Dear readers,

ご挨拶

多くの人々が COVID-19 の中で新たな未来を模索し、再構築し続けています。これは歯科業界でも同様です。さらに進化・発展し、独自の価値を追求したいという想いが、その大きな原動力となっています。インテリアデザイン業界も同様で、さまざまなインスピレーションの源であるリアルな人と人の交流が制限されている今でも、デジタル化やデザイン、インテグレーションの分野は、目覚ましく発展し続けています。

今回私たちは、トレンドリサーチャーと協力し、歯科クリニックのインテリアデザインにおける2022年のトレンドとイノベーションをまとめました。本号では、3つのデザイントレンドである“Artistic Spirit”、“Calming Comfort”、“Natural Perspective”を軸に、その実例を紹介しています。快適性と優れた医療の両立を目指すそれらはすべて、患者さんへの素晴らしい体験の提供へとつながっています。

また本号では、インテリアデザインのトレンドに加えて、クリニックの居心地のよさ、患者さんやスタッフとのコミュニケーション、そして衛生管理の徹底や、統合化されたワークフローによるクリニック内のネットワーク化など、歯科医療についての最新トピックも、幅広く紹介しています。

革新的でエレガントなデザインと、包

括的なワークフローを実現する性能を兼ね備え、業界のトレンドをリードし続けている、PrimescanやPrimemill、Axeosなどのソリューション。グラフィックを使った直感的なユーザーインターフェースや、細部まで美しく機能的なアンビエントライト。これらの製品は、歯科医療を大きく進化させてきました。クライアントの要望やビジョンを新製品のコンセプトに反映させることで、新しいユーザー体験を実現してきたデンツブライシロナ。これからも私たちは、皆様の想いに寄り添う製品を提供してまいります。

あなたがクリニックをご開院・リニューアルされる際の、インスピレーションになりますように。



Director Brand Marketing Enabling Devices
Susanne Schmidinger

Contents

1 ご挨拶

2 Contents

Column 1

4 Dental Office Design 患者さんの心理に働きかけるデザイン

6 デザイントレンド紹介

8 Artistic Spirit

むらかみひろし歯科医院 / 福岡県福岡市

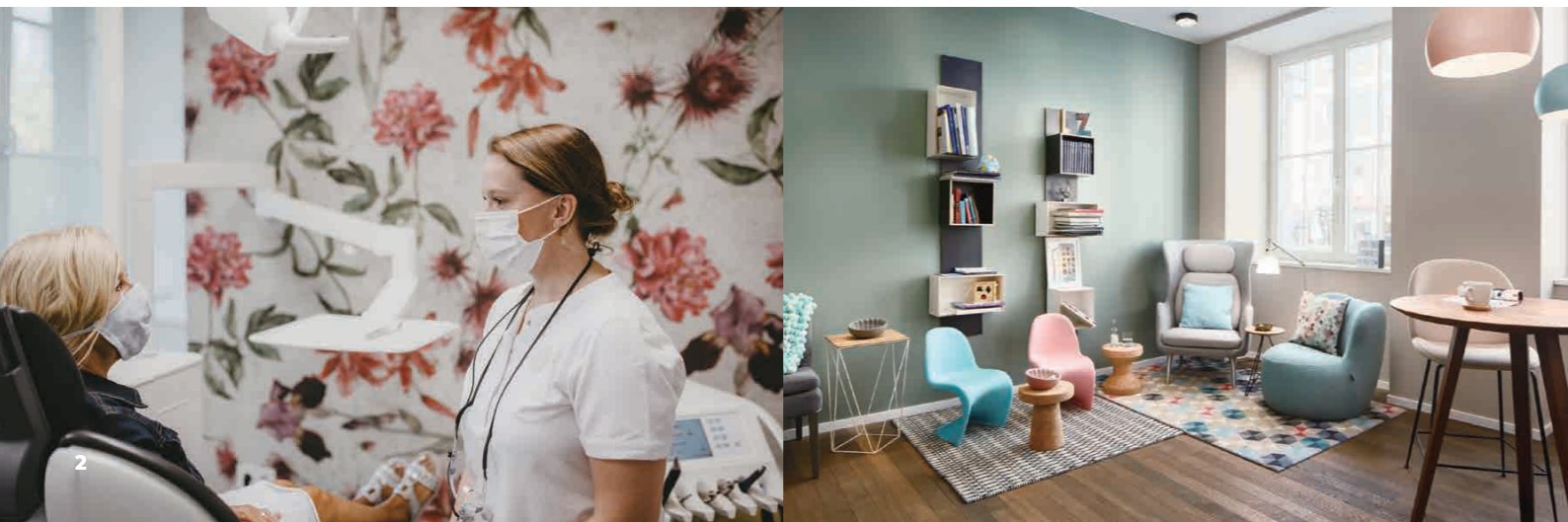
Toki Dental Clinic / 三重県桑名市

DIE PRAXIS MITTE / Berlin, Germany



Column 2

22 Infection Prevention パンデミックで強化されたデザインと感染予防の関係



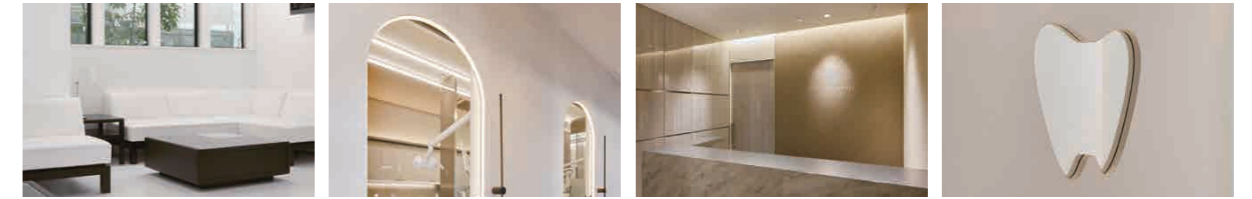
24 Calming Comfort

伊藤デンタルクリニック / 神奈川県小田原市

スマイルプラン歯科クリニック西宮 / 兵庫県西宮市

COCORO DENTAL NISHIAZABU / 東京都港区

OSHIMA DENTAL OFFICE / 千葉県四街道市



Column 3

42 Patient Experience データに基づいた、よりよいクリニック体験の創造

44 Natural Perspective

天神西通りデンタルクリニック / 福岡県福岡市

椎木デンタルクリニック / 山口県宇部市

OCEAN DENTAL OFFICE MINATOMIRAI / 神奈川県横浜市

富沢西EBデンタルクリニック / 宮城県仙台市



Column 4

62 Dental Product Design デザイン担当ディレクターの視点

Column 5

64 Ergonomics 人間工学に基づく製品設計が違いを生む

66 革新的な歯科医療を実現するデンツプライシロナのプロダクツ

68 デンツプライシロナ日本国内拠点

The Power of Design on Human Psychology

患者さんの心理に働きかけるデザイン

ストレスを緩和する環境づくりなどへのニーズが高まる今、歯科クリニックにおけるデザインは、どうあるべきか
ネバダ大学ラスベガス校建築学部の准教授で、環境心理学の博士号を持つDr. Dak Kopecにお話を伺いました。



Dr. Dak Kopec



Zahnärzte im Zentrum, Germany

—— デザインが人の幸福度に与える影響についてお聞かせください。

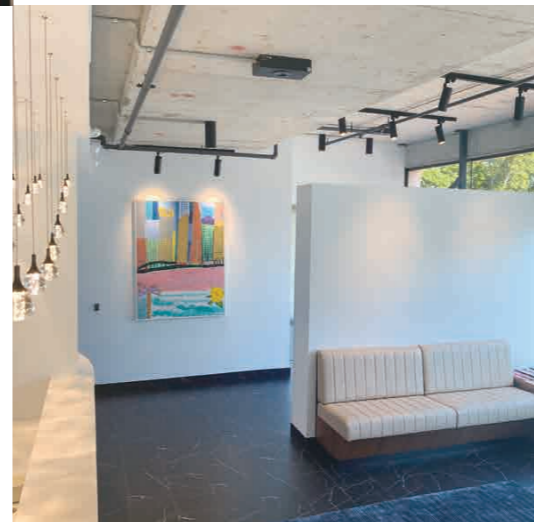
デザインは、感情の動きに影響を与える効果を持ち、感情を増幅したり、抑制したりすることができます。たとえば、予約した歯科クリニックを訪れる際、患者さんのストレス度が10点満点で4点だったとします。しかし、車での移動中、渋滞に巻き込まれたり、悪質なドライバーに出会ったりすると、クリニックに到着したときのストレス度は6~7点に上がり、イライラして攻撃的な態度をとってしまうかも知れません。



Zahnärzte im Zentrum, Germany

このような場合も、クリニックのデザインによって、イライラや攻撃性のレベルを下げられる可能性があります。たとえば人はイライラすると、より広いパーソナルスペースを求めます。ですから、待合室の椅子の間隔を広げリラックスできる環境を整えることで、患者さんのストレスを軽減できます。

また診療中も、患者さんが「ずっとここに座っていたい」と思えるような環境を提供することで、ポジティブな感情を引き出すことができます。



Dental Boutique Gold Coast, Australia



Dentists Burgergut, Switzerland

—— よりよい体験を提供するためのデザイン要素とは？

私は色彩のみを基準にすることはありません。なぜなら、北欧の人々はダークトーンを好む傾向があるなど、地域によって色から連想するイメージが異なるからです。たとえば、重要な要素のひとつである照明。受付のスタッフは仕事をするのに適した明るさが必要で、待合室にいる患者さんにはリラックスするための薄暗い環境と、柔らかい照明が必要です。さらに、落ち着いた雰囲気を演出するには、インテリアや音楽なども有効です。

80年代にはアクアリウムが流行し、それ以前には暖炉が好まれていました。今は、リビングウォール（壁面緑化）や観葉植物が人気です。いずれも心を落ち着かせ、脳をリラックスさせる作用があるという共通点があります。

—— 患者さんが快適に過ごすための、デザインの秘訣を教えてください。

四角や三角のような直線的なラインを避け、壁に丸みを持たせるなど、柔らかいラインを取り入れるとよいでしょう。また、エンドテーブルや椅子などを、流動的に配置するのもおすすめです。

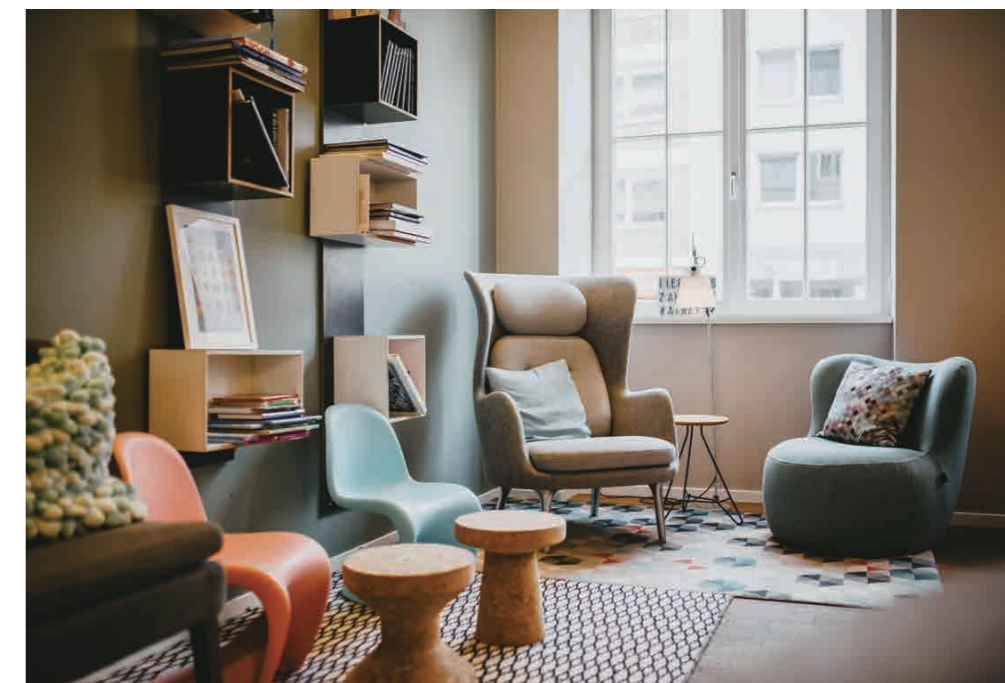
ソーシャルディスタンスが課題の今、座る場所を分散したり、椅子に代わるものを用意するなど、その空間にいる人々がそれぞれ快適に過ごせる空間デザインが求められています。たとえば、子供連れのお母さんなど、近い方と来院される患者さんは、お互いが近い



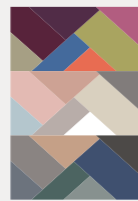
Densde Dental, China

ところに座りたいはず。逆に、ひとりで来院される方は、パーソナルスペースを保てる場所がいいと思うでしょう。

患者さんの多様性を考慮し、彼らのニーズを紐解くことは、デザインを考える上で非常に役立ちます。その空間を利用する患者さんに寄り添い、共感することこそが、デザインを成功へと導く秘訣です。



Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany

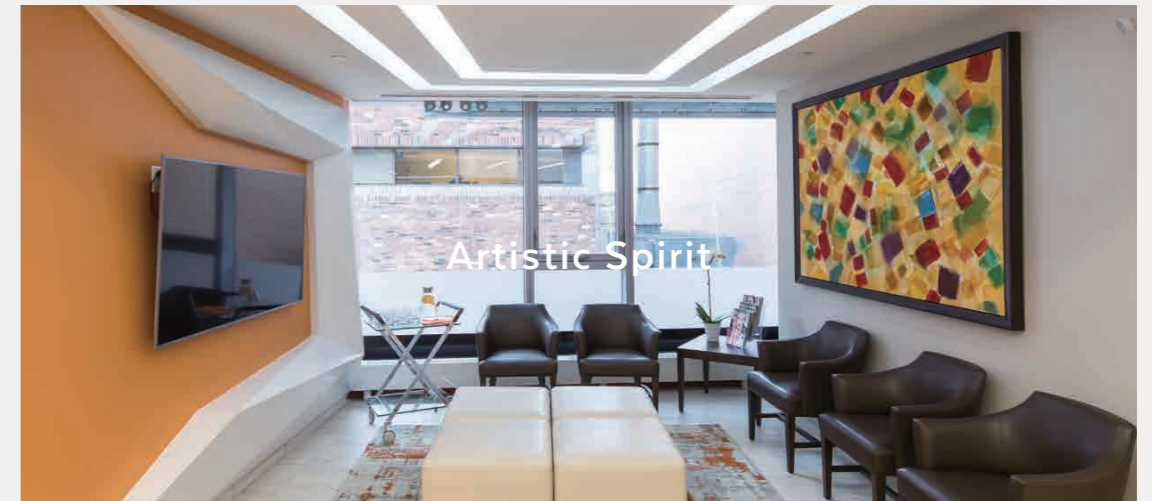


Design of Dental Clinics that Fulfills Dreams

クリニックデザインのトレンドを

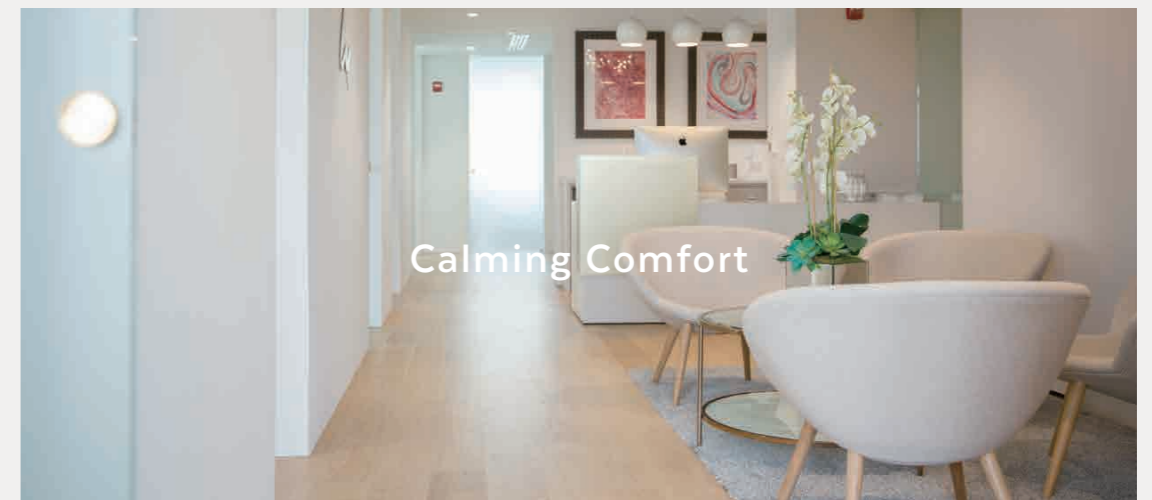
“Artistic Spirit” “Calming Comfort” “Natural Perspective”の3つのカテゴリーで紹介。

快適さと個性が出会うとき、そこに新しい空間が生まれます。



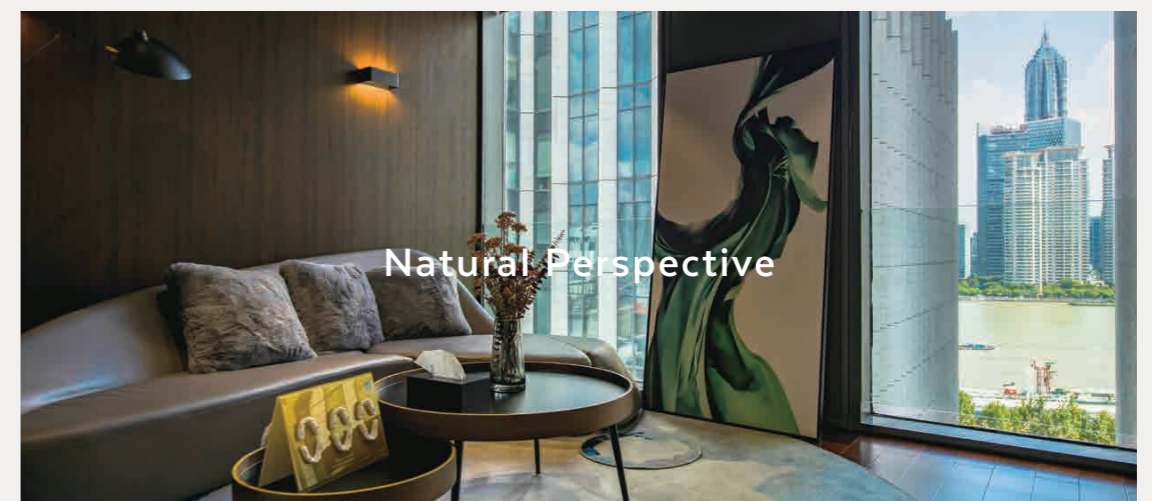
The Personalized Appeal of Artistic Spirit

ビビッドなカラーや独創的なデザインによって、アーティスティックな空間を創造する。



The Relaxing Ambience of Calming Comfort

柔らかいカラーや曲線を取り入れ、リラックスした雰囲気をつくり出す。



The Essentials of Natural Perspective

こだわりの素材や性能など、美しく価値のある要素を活かすことで生まれる、洗練された空間。



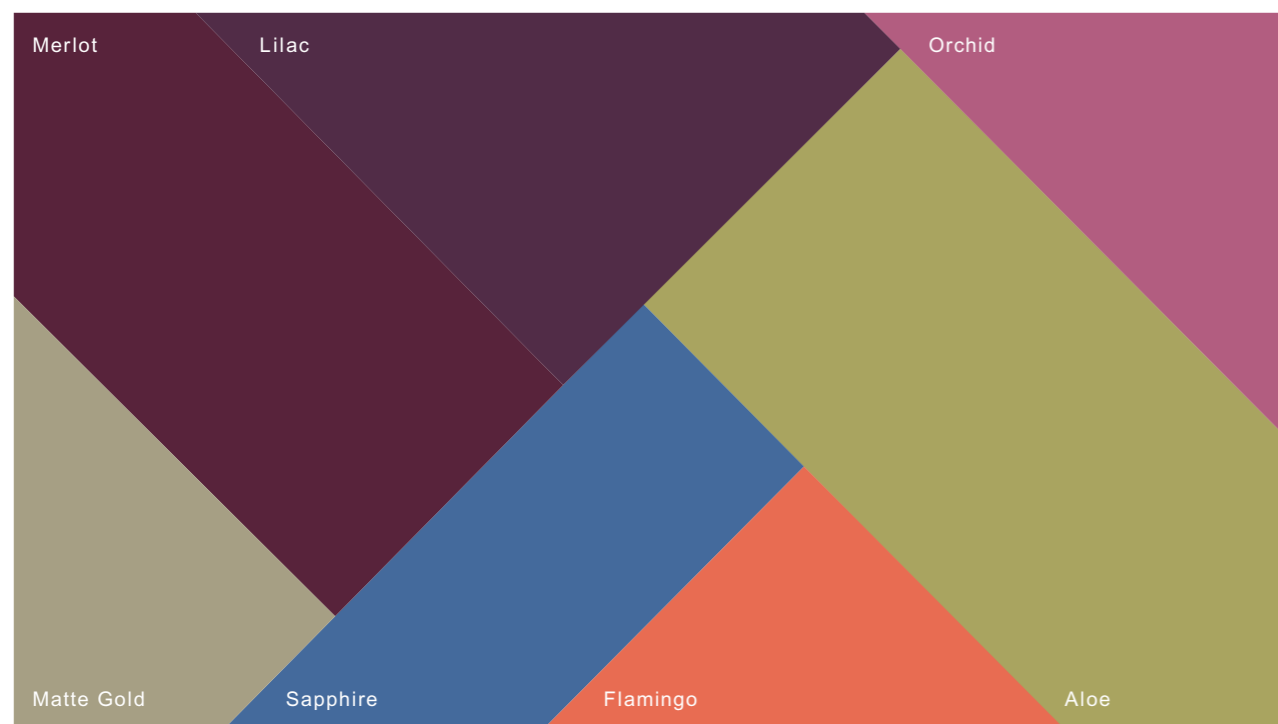
Accolade Dental Centre, Canada

Artistic Spirit

新鮮で独創的なアプローチを試みる“Artistic Spirit”。
クリニックに活気をもたらし、ビビッドな印象を演出します。

カラースキーム

型にはまらない色彩の組み合わせによって、空間に命を吹き込む“Artistic Spirit”。
生き生きとしたアロエ、サファイア、輝くフラミンゴ、刺激的なオーキッドなどの直感的で個性的な色が、活力溢れる配色を実現しています。
また、ライラックをはじめ、メルローやマットゴールドなどの落ち着いた色調と組み合わせることで、室内の個性を際立たせます。



気持ちを明るくするユニークなデザイン

新鮮で創造的、ひと味違う自由なデザインへのアプローチ“Artistic Spirit”。デザイナーの自由度が高く、個性的なソリューションを特徴とするため、ハンドクラフトのような仕上がりになることも。よりユニークな空間にするため、リサイクルされた素材もよく使われます。

Dipping Light

Marset, Dipping Light by Jordi Canudas.
Glass dipped in a varnish bath.
(© Dipping Light, Marset, www.marset.com/en/)



Painting showing an orange line in different shades

One Orange Line; work by dutch artist Thomas Trum.
(© One Orange Line 13, Thomas Trum, www.thomastrum.nl)

素材とインテリア

美しさと持続可能性の両立、資材保護の観点から素材を探求し、新境地を切り拓くクリエイティブなデザイナーたち。彼らは再生PET樹脂や廃材、古い石などのさまざまな素材を、機能美溢れるインテリアに仕上げています。外観はコントラストに富んでおり、光沢のあるラッカー塗装や自然をモチーフにしたもの、構築的なものまで多種多様。遊び心のあるフォルムの家具や芸術的なランプ、型破りなヴァインテージの解釈など、個性的なデザインが注目を集めています。



Stack of colorful chairs

Stack of chairs redesigned by Snøhetta and photographed by Stephen Citrone representing some of the Artistic Spirit's color palette. The materials used are made of recycled plastic waste from the Norwegian fish farming industry and recycled steel. (OS-1500 CHAIR' redesigned © Snøhetta/Stephen Citrone, snohetta.com/)

Plant-like room divider with multiple shoots coming out of the ashwood base

Spring Room Divider from De Vorm, by Floris Schoonderbeek. The nature-inspired design aims to create a subtle sense of privacy. The base is made from clear ashwood. (© De Vorm Spring Room Divider by Floris Schoonderbeek, www.devorm.nl/)



Artistic Spiritの空間デザイン

“Artistic Spirit”を取り入れている歯科クリニックは、それぞれが個性的です。時には実験的に、奇抜とも言えるほど強い色彩を用いた芸術的なデザインも。歯科クリニックをユニークなデザインにすると職場が明るくなるだけでなく、視覚的な楽しさが患者さんの気分転換になるという好ましい効果もあります。

Artistic Spirit 1

MURAKAMI HIROSHI DENTAL CLINIC

FUKUOKA

Artistic Spirit

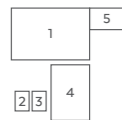
地域の人々が集い憩う
楽しいクリニックを目指して

むらかみひろし歯科医院
福岡県福岡市



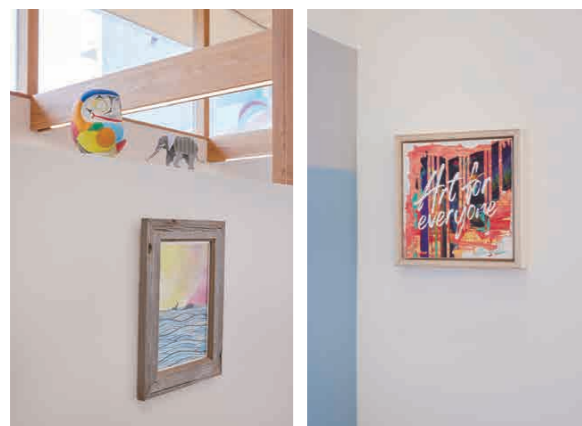


Artistic Spirit 1
MURAKAMI HIROSHI DENTAL CLINIC
FUKUOKA



1.大きな天窓から差し込む光が、クリニック内を明るい印象に。2.ダルマに色を塗るイベントを行うなど、アートを切り口に、地域の子供たちに予防の啓蒙を行っている。3.友人であるアーティストの作品や院長のコレクションが飾られた院内。4.白い壁によく映える赤いシート。背もたれ

が倒れると、天窓から空が見える。5.鳥が木に集うように、クリニックも地域の人々が集う場所になってほしいという、院長の想いが壁画に込められている。6.院内は木のぬくもりに溢れ、患者さんも心地よく過ごることができる。2階からは院内の状況が一目で把握できる。



歯科クリニックの枠を超えた、
地域の人々を支える場として

歯や歯茎が悪化する前に予防するため、口腔メインテナンスの啓蒙に注力している村上弘院長。その大切さを伝えるために、院長が取り入れているのがアートである。

クリニックのカラフルな壁画を見て、一目で歯科クリニックだと気づく人はなかなかいないだろう。しかし、それも狙いのひとつ。「歯医者という垣根を越えて、地域の人々が心を落ち着けて集える広場のような場所をつくりたかった。そのため、あえてクリニックっぽさを払拭した外観にし、開院当初は看板を掲げませんでした。多くの患者さんが外観のアートを頼りにホームページにたどり着き、診療方針を理解されてからご来院くださることが、よりよい関係を築けている秘訣です」

クリニック内にも多くの絵画を飾るなど、患者さんがリラックスしながら楽し

く過ごせる環境づくりに積極的に取り組む院長。子供たちがアートを体験できるイベントを開催し、その後に歯磨き講習を行うなど、楽しみながら予防の知識を広める活動も行っている。

アートに造詣の深い村上院長が、デンツプライシロナのユニットを導入した理由も、デザインに対する考え方への共感から。「デンツプライシロナの『最初に美しいデザインを起こし、そこに高性能な機能を組み込む』というコンセプトは『建築家のつくる空間と歯科医の技術によって、ひとつのクリニックが完成する』という、私の考え方に近いと思いました」

また、デザインへの遊び心にも共感しているそう。「私も白い壁に映える赤いシートを選んだり、ユニットを倒した際に患者さんが青空を見られるよう、診療室に大きな天窓を設けたり、クリニック内にも遊び心を取り入れています」

そんな院長が心掛けていることが、地域の人々との真摯なコミュニケーション。十分な医療体制が組めないケース

は正直に伝え、別の専門医を紹介することで、地域全体で患者さんを支える医療環境をつくっている。「患者さんにとってベストな医療を提供するためにも、その環境を地域全体で整えていくのが、僕の仕事だと思っています」と、その姿勢は潔い。

さらに地域コミュニティ内でつながることの大切さは、コロナ禍でより強く意識するようになったという。「お口の健康以外のトラブルが起きても、ここに来ればよいと思ってもらえるような場所にしたい。だからこそスタッフと患者さん、そして患者さん同士もつながりを感じられる、あたたかい環境をつくっていききたいと思っています。歯科医師として、予

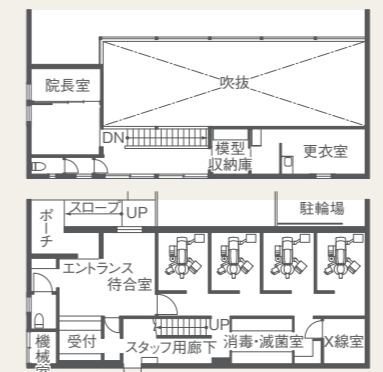


防メインテナンスの啓蒙活動は続けながら、地域の子育てや教育をアートというキーワードでサポートし、地域の人が自然と笑顔でつながるコミュニティづくりに貢献していきたいです」と地元への想いを熱く語った。

むらかみひろし 歯科医院

ADD : 福岡県福岡市早良区飯倉 3-40-24
TEL : 092-845-5580
WEB : murakamihiroshi-dc.com

Floor plan



設計・デザイン: 中村真次郎建築設計事務所、株式会社 AIR PLANT

Dentist



院長 村上 弘 先生

福岡歯科大学卒業。歯周病学会専門医。
福岡歯科大学 口腔治療学講座 臨床准教授。
2018年「むらかみひろし 歯科医院」開院。

TOKI DENTAL CLINIC

MIE



洗練された開放感がつくる
上質であたたかいクリニック

Toki-Dental Clinic

三重県桑名市



1. 個室診療室の壁は、海のような青。落ち着いた診療室内の爽やかなアクセントとなっている。2. 診療室の出入りに、カルテ入力用PCを設置。診療後の患者さんの表情を確認できるため、悩みを聞いて寄り添うコミュニケーションが可能に。3. アパレルショップのような、おしゃれな印象の外観。

安心と信頼を生み出す
目配りと気配りのデザイン

最適な歯科医療を提供するためには、患者さんの話にしっかりと耳を傾けることが大切と話す加藤時規院長。そのクリニックづくりには、患者さんとのより深いコミュニケーションを促すための、あらゆる工夫が凝らされている。

患者さんと落ち着いて話せる環境づくりのために、加藤院長がまずこだわったのが室内空間。「アパレルショップやカフェのように洗練されているけれども、みんなが気軽に来て快適に過ごせる場所にしたい」と語る。たしかにクリニック内は、青と白を基調にした西海岸のイメージで統一され、高級感がありつつもあたたかく心地よい。

また、円滑なコミュニケーションを促すためのさまざまなこだわりもある。「患者さんやスタッフの様子を一目で把握できるように、待合室から診療室までクリニック全体が見渡せる診療室の出入り

口にデスクを設置しました。お帰りになる患者さん全員と顔を合わせることができ、たとえば帰り際に少し冴えない表情の方がいれば、すぐに察知でき、その方のお話を聞かせていただくようにしております」と、その目配りと気配りについて触れた。また、消毒・滅菌室を中央に配置したことで、そこから診療室を見渡すことができ、作業中でも患者さんに意識を向けられる体制を整えている。周りからよく見える消毒・滅菌室は、スタッフの衛生に対する意識向上にも役立っているようだ。

さらに半個室の診療スペースには、患者さんの居心地のよさとプライバシーを両立させる工夫がある。「トリートメントセンターが配置された3つの診療スペースは、間隔を十分に取った上で、仕切り壁を設けました。また、患者さんが閉塞感を覚えがちな個室の診療室は、ガラス張りにすることで、安心して診療・治療を受けられる環境を整えています」

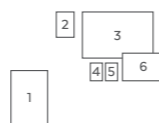
気軽に足を運べる安心感と、より質の



高い技術や環境の提供を目指す院長。そのコンセプトに、デンツブライシロナのトリートメントセンターがマッチしたという。「統一感のある洗練されたデザインが、クリニックに合うと思って。あとは、一社でユニットからCT、CEREC、エンドまですべて連携でき、さらに機能性が高かったことも導入の決め手となりました。CTとディスプレイを使うだけで治療後のイメージを共有できるため、患者さんの満足度が高い治療を行うためには、デジタルデンティストリーは欠かせないファクターです」

デジタル化は、患者さんの声に耳を傾ける環境づくりにも役立っていると、院長は考える。「医師やスタッフの仕事をデジタルで代用できるようになり、その分、患者さんとのコミュニケーションに時間を割けるようになりました。スタッフと患者さんが深い関係を築くことが、スタッフの技術向上へのモチベーションにもなっているようです」

デジタル機器の導入により進化した、患者さんファーストの医療。「新たな設備の導入によってそのレベルを上げながら、患者さんに寄り添い続けていきたい」と語る院長のクリニックは、これからも進化し続けるだろう。

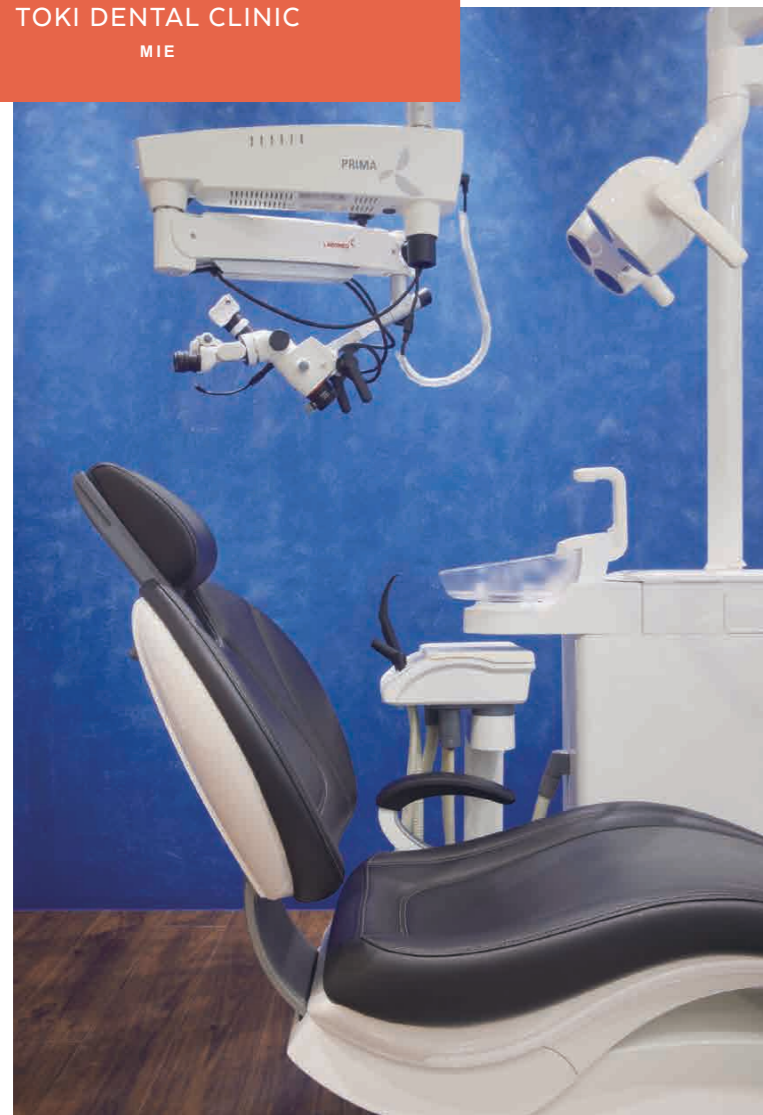


1.2. 壁色には、安心感のある落ち着いた青をセレクト。デザイン性を高めるため、色みやムラ感にこだわり左官で仕上げた。
3. 患者さんからも見える診療室の中央に、消毒・滅菌室を配置。

作業中も患者さんの様子を確認できる。4. 清潔感のあるサニタリーエリアは、こだわりのタイルがアクセント。5. 待合室の一角には、家族や同伴者とくつろげるテーブルスペースも。6. 待合室はマリンテイストに。家族で来院しても心地よい空間を目指したそう。



Artistic Spirit 2
TOKI DENTAL CLINIC
MIE



Toki Dental Clinic

ADD : 三重県桑名市有楽町25番地 第2アツマヤビル1F
TEL : 0594-23-2284
WEB : tokidc.com



院長 加藤 時規 先生

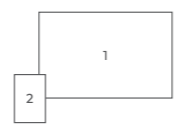
2010年大阪大学歯学部卒業後、15年大阪大学大学院研究科博士課程を修了。大阪大学歯学部附属病院に勤務後、18年「Toki Dental Clinic」を開院。日本口腔インプラント学会専門医。



Artistic Spirit 3

DIE PRAXIS MITTE

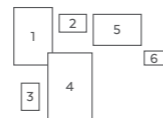
BERLIN, GERMANY



1. 受付は、エレガントでありながら、遊び心を感じさせるタイルのレイアウトが個性的。
2. 椅子のファブリックなどのカラーアクセントが、空間に華やかさを演出。

ふたりのドクターの個性を反映した
若々しくモダンなクリニック

DIE PRAXIS MITTE
Berlin, Germany



1. エントランスデザインを踏襲し、ミニマルデザインの家具を配置したサニタリーエリア。2.6. クリニックの看板は、ネオンサインでモダンな印象に。3. 幻想的に光る Orthophos SL のアンビエントライトは、空間のアクセントにも。4. クリーンな印象の診療室。トリートメントセンターは、クリニック全体の雰囲気に合わせて、黒と白のシンプルなデザインで統一。5. 笑顔の写真が並ぶ廊下。歯の健康を維持し、笑顔でいてほしいという、想いが込められている。



確かなビジョンでたどり着いた クールなデザインと高度な治療

「優れたデザインは、人と人との架け橋になる」Dr. Christina Erdmann と Dr. Anna Trojan はその想いを胸に、患者さんの過ごしやすさを追求しながらも、自らの個性を活かしたアーティスティックなデザインアプローチで、遊び心のある空間をつくりあげている。

ドイツのベルリンにある歯科クリニックで同僚として勤務していたふたりは、2019年に独立し、440平方メートル内に8つの診療室と予防室、技工室を設けた広々としたクリニックを開院。「よりモダンで若々しい空間にしたかった」と Dr. Erdmann が語るように、そこには彼らのエネルギーな個性が表現されている。

アレン・カウフマンスタジオがデザインした受付エリアの壁やデスクには、歯にインスピレーションを得た白色のタイルを採用。所々に洗練された色彩のタイルを散りばめたデザインは、遊び心を感じさせる。アクセントにカラーを用いるというコンセプトは、家具をはじめ、椅子のファブリックやサニタリーエリアなど、あらゆるところに反映され、空間全体にアーティスティックな印象を与えている。「私たちが好きなものと、患者さんの心地よさのバランスをとることが重要でした。フェミニンなアクセントとクリーンな色調の組み合わせは、患者さんにも好評です」と、Dr. Erdmann。

ふたりのこだわりは、使用する機器にも及ぶと Dr. Trojan は続ける。「ハイレベルなテクノロジーは、安心感だけでなく、治療結果にも大きなメリットをも

たらします。そこで私たちは、Intego、Sinus、Teneo のトリートメントセンターをはじめ、Orthophos SL や Primescan の口腔内スキャナー、CEREC のミリングユニットに至るまですべてに連携が可能なシステムを導入しました。トリートメントセンターはシートカラーを選択できたので、クリニックの雰囲気と機器を調和させることもできました。診療室に入ると、デザインもクールなハイテク機器が目飛び込んでくるはずですよ」

このクリニックでは、外科手術と軟組織管理のスペシャリストであるふたりを中心に、16名のスタッフが、患者さんのインプラントを長期的にケアするため、全員で管理を行っている。そのサポートをするのが、デジタルデンティストリーだ。「当クリニックでは、スタッフ全員が CEREC のトレーニングを受けているので、CTでのスキャンから、歯の研磨、



焼成、染色まで、すべてを自分たちで行うことができます。その強みがあるからこそ、私たちは望むレベルでの治療プロセスを提供できるのです」と語る、Dr. Trojan。ふたりが生み出した、新しいスタイルのクリニックの今後が楽しみです。

Artistic Spirit 3
DIE PRAXIS MITTE
BERLIN, GERMANY



DIE PRAXIS MITTE

ADD : Münzstraße 5, 10178 Berlin, Germany
TEL : 030-4036-76-00
WEB : www.die-praxis.berlin

Dentist



Dr. Christina Erdmann (左)
Dr. Anna Trojan (右)



Pandemic Strengthened Connection Between Design and Infection Prevention

パンデミックで強化されたデザインと感染予防の関係

COVID-19のパンデミックにより再認識された、感染予防におけるデザインの役割。デンツブライシロナのグローバルクリニカルアフェアーズマネージャーであるStella Nehr-Wernerが、今後のデザイントレンドにも影響を与えるであろう、感染予防を考慮したデザインについて語ります。



Stella Nehr-Werner

— パンデミックで感染予防はどう変わりましたか？

細菌やウイルスから患者さんを守るため、常にエアロゾルに対処するなど、以前から感染予防に細やかに配慮してきた歯科クリニック。COVID-19のパンデミックにより、感染制御と予防が再注目されている今、クリニック内ではスタッフの安全を守る感染対策に加え、患者さんが入れ替わる際にあらゆる場所を適切に消毒するなど、感染を予防するための手順が増えました。

— 歯科クリニックでの感染予防で最も重要なことは何ですか？

まず最初に、エアロゾル感染の予防がとても重要です。そのためには、可能な限りエアロゾルの発生を抑制する必要があります。次に、歯科用器具の除菌処理。特にハンドピースやタービンなど回転する器具の洗浄・消毒が大切です。最後に、診療後の部屋の除菌処理です。人が触れた場所すべてを消毒するだけでなく、ウォーターラインも洗浄するなど、次の患者さんを迎える準備を行う必要があります。

— COVID-19のパンデミックが今後のトレンドに与える影響は？

待合室や受付などに置かれた小物やラックの雑誌などすべてに関して、「これは本当に必要なものか?」「消毒は可能だろうか?」という意識が生まれ、衛生面により注意を払ったデザインが好まれるようになると思います。患者さんが来院されるたびに観葉植物を消毒することも難しいため、これらについても見直しが必要になるかもしれません。また、「機器の材質が消毒用アルコールなどの化学物質に耐えられるか?」「素材の色は落ちないか?」「より強力な消毒剤が使用された場合、影響がないか?」など、パンデミックで生じた悩みを考慮して製品デザインを行う必要があります。メーカーとしては、より多くの消毒剤テストを行い、ユーザーへのアドバイスも行っていく必要があるでしょう。



Accolade Dental Centre, Canada



Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany



Praxis Samtweiss, Germany

Point

歯科クリニックのデザインは、どのように感染予防に貢献できるか？

クリニックのインテリアデザインは多くの場合、トレンドやテーマに合わせて行われますが、感染予防対策に利用することもできます。Stella Nehr-Wernerは、感染予防は受付や待合室からはじまると言います。「歯科クリニック全体で、患者さんやスタッフの動線をできるだけ短くするのが理想です。また、消毒・滅菌室を、診療室に対して中央に配置するのもよいでしょう」

パンデミック抑制のための共有スペースの再考

COVID-19のパンデミックがクリニックのデザインに与えた影響のひとつが、共有スペースでいかに感染リスクを最小限に抑えるかということ。待合室においても、ソーシャルディスタンスを保ち、患者さんが安心して過ごせるような空間をデザインする必要が生まれてきました。このニーズを予測し、すでに実現しているクリニックもあります。ドイツのケルンにあるLieblings-Zahnarztの待合室では、使用する椅子やソファに個人のスペースを十分に確保できるものや家族向けにデザインされたものなど、さまざまなタイプを用意。患者さん自身で、安心できる場所を選ぶことができます。

Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany





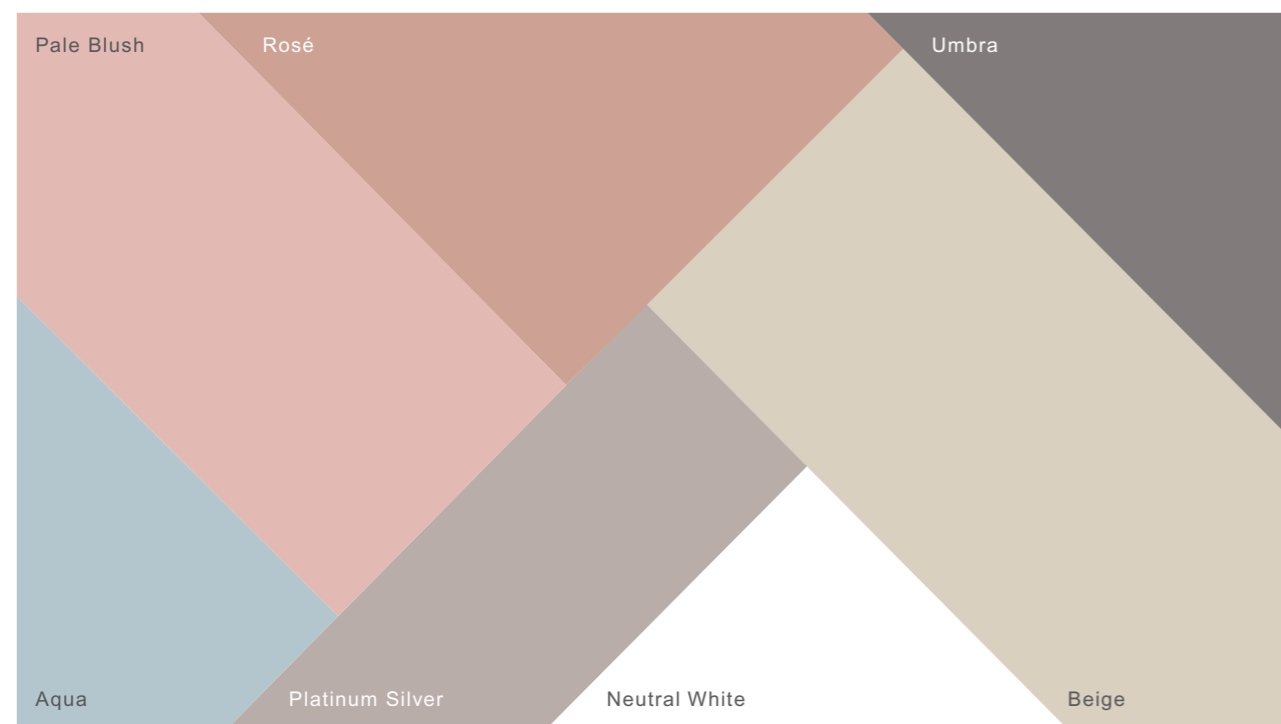
Dr. Lindsay Marshall, USA

Calming Comfort

やさしいパステルカラーを採用し、落ち着きのある快適さを演出する“Calming Comfort”。
柔らかさと曲線が、リラックスした雰囲気を生み出します。

カラースキーム

暖色系、寒色系、中間色がバランスよく配色され、優美で落ち着いた雰囲気を醸し出す“Calming Comfort”。
アクアやロゼなどの柔らかなパステルカラーは、ニュートラルホワイトやプラチナシルバーと相まってやさしい雰囲気に。
個性的なアンブレラは、明るいカラーを引き立てます。マットでソフトな色展開ですが、穏やかなきらめきを持つカラーもあります。



気持ちを落ち着かせ、安心で包むデザイン

色味を抑えたやさしい色彩構成としなやかな素材、
曲線を活かしたフォルムを組み合わせた“Calming
Comfort”。そのデザインは幅広く、流行を取り入れたも
のからタイムレスなものまでさまざまです。幸福感や快
適さ、ストレス解消をもたらすデザインは、安心感と親し
みやすさで人の心に寄り添います。

Corner table, chair,
and lamp from the
Karimoku Case Study
crafted with dark wood

(© N-ST01, Karimoku Case Study,
Norm Architects, [www.karimoku-
casestudy.com/](http://www.karimoku-
casestudy.com/))

素材とインテリア

心地よい手触りの素材が多く、テキスタイルには、居心地のよさを演出するために、ソフトでボリューム感のあるものを使用しています。木材は軽くなめらかな素材感のものが多く、ラッカー塗装でマットに仕上げられることも。家具はミニマルで丸みを帯びており、居心地のよさを追求しています。



Designer lamp with multiple
light sources

Flock of Light by Studio Toer: a
lamp with an airy design and made
of brass cups, bronze wires and
semi-transparent polycarbonate
diffusers. (© Flock of Light by Studio
Toer, Moooi lighting design, [www.
moooi.com](http://www.
moooi.com/))



Lunaria table made of natural ash wood treated with wax oil

An example of the rounded, soft shapes that are representative of the Calming Comfort design trend. The aptly named Lunaria ash wood table gives the room a warm feeling with its irregularly rounded shape similar to the appearance of the moon as light refracts off of the Earth's atmosphere. (© Lunaria Table, DUX, Design Claesson Koivisto Rune, Picture Marcus Lawett, www.claessonkoivistorune.se/)

Sofa with ample
cushioning, wooden frame,
and a low seat height

The generous seating area of this chair designed by Keiji Ashizawa, invites the person to sit down and relax, while the low seating height has the effect of visually enhancing the size of the room. (© A-S01 1-Seater, Karimoku Case Study, Keiji Ashizawa, www.karimoku-casestudy.com/)



Calming Comfortの空間デザイン

“Calming Comfort”をコンセプトとした歯科クリニックでは、患者さんがリラックスして治療を受けられる環境を提供したいと考えています。カラースキームから、家具の穏やかなフォルムやボリューム感、手触りのよい素材まで、あらゆる要素が患者さんをリラックスさせ、ストレスの緩和をサポートします。

Calming Comfort 1

ITO DENTAL CLINIC

KANAGAWA



1.白を基調に木材をふんだんに取り入れたクリニック内。木のアクセントが安心感とやさしさを醸成。2.患者さんに合わせて使い分けるため、待合スペースを複数用意。ゆとりのあるレイアウトと、窓から光が差し込む開放的な空間が、心を落ち着かせる。3.4.クリスタルのオブジェとダーラナホースは、クリニックにゆかりのあるスウェーデンのもの。



Calming Comfort



世界から学んだ、
クリニックのあるべき姿

伊藤デンタルクリニック
神奈川県小田原市





Calming Comfort 1

ITO DENTAL CLINIC
KANAGAWA



タイプさを要求される医療だからこそ、徹底してプライバシーを守る環境づくりにこだわっています」

さらに、スタッフの自主性の向上にも注力していると話す、伊藤院長。すべてのスタッフがフランクに話し合えるような職場づくりを意識し、気軽に参加できるセミナーなどを開き、学び合える場を提供している。また、スタッフの成長には歯科医療のデジタル化が欠かせないと語る。「かつては口腔内写真を撮って



より本質的に歯科医療の在り方を考える伊藤院長。その姿勢はクリニックの空間デザインにも反映されている。「デザインという言葉には、概念を再定義し、表現するという意味があります。クリニックのデザインも、本来あるべき歯科医療や働き方などをゼロから考えて再定義した上で、患者さんの自主性をサポートできる場所であることを意識しました」

その考えを象徴するものが、受付を設けずに白い壁だけを配したエントランスだ。「クリニック本来の目的は、患者さんが自主的に口腔ケアに取り組むための環境を提供すること。だからこそ、口腔について一度立ち止まって考えてもらえる空間デザインを採用しました。本質的な役割を突き詰めて洗練させることで、よいデザインをつくり出すという考えは、デンツプライシロナのユニットにも共通していますね」

また院長は、患者さん自身の気付きや自主性を促すことを大切にしている。そのために欠かせない要素が情報の共有であり、患者さんが安心できる環境でゆっくりと話し合うためには、個室が必須であると考え。「私が訪れた世界中のクリニックで、個室の導入が進んでいないのは日本だけでした。よりセンシ

本質を見つめ洗練させる そこに新しい価値が生まれる

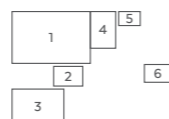
理想の歯科医療のために、伊藤直人院長が掲げるモットーは「ひとりひとりを大切に、ひとつひとつを丁寧に」

その考えは、世界各国のクリニックや施設に足を運び、医療現場だけでなく、その国の暮らしや文化についても学ぶ中でたどり着いたという。「世界を見て感じたのは、『最先端はどこにもない』ということでした。日本も含めそれぞれの国で、歯科医療に関して優劣が共存している。だからこそ、自分自身と目の前の患者さんをしっかりと見つめたところにしか、真の医療はないと思ったのです」



から仕上がるまでに時間がかかりましたが、今はリアルタイムに情報を取得できるので、スタッフが自ら情報を掘り下げ、学ぶ時間が増えました。スタッフはアップデートし続ける医療とともに向上していくことができる、自立したプロフェッショナルに育ってほしいと思います」

課題の本質を見抜き、ひとつひとつ丁寧に向き合うことが、新たな価値を生む。伊藤院長のその想いは、患者さんやスタッフの豊かな人生につながっている。

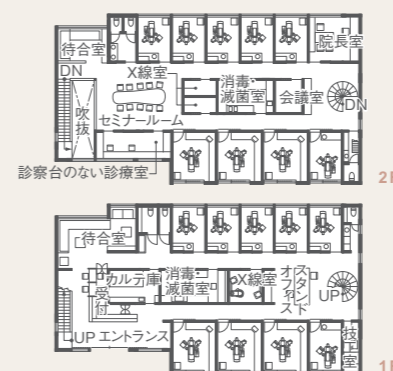


1.1階の階段付近に、スタンドオフィスを設置。コミュニケーションを取りながら、カルテ入力も効率的に行える。2.患者さんとの対話に集中できる、診察台のない診療室も。3.ワークショップやセミナーなどを行うのに便利な広々としたセミナースペース。4.診療室のキャビネットはオーダーメイド。器具やPPEが整理しやすく、清潔さを保てる。5.スタッフと患者さんの過ごしやすさに配慮した、ゆとりのある診療室。6.確実性と効率性を重視した消毒・滅菌室は、欧州のクリニックを参考にレイアウト。

伊藤デンタルクリニック

ADD : 神奈川県小田原市栄町1-10-18
TEL : 0465-22-4050
WEB : idc-odawara.jp

Floor plan



株式会社水谷社デザイン事務所

Dentist



院長 伊藤 直人 先生

2010年神奈川県小田原駅前「伊藤デンタルクリニック」を開院。16年に移転し現在に至る。20年「カリエスブック」(医歯薬出版)を上梓。Doctorbook academyにてご講演中。

Calming Comfort 2

SMILE PLAN DENTAL CLINIC NISHINOMIYA

HYOGO



世界標準を目指す
デジタルデンティストリー

スマイルプラン歯科クリニック西宮
兵庫県西宮市



デジタルで広がる歯科医療の可能性

関西を中心に、多くのクリニックを運営しているスマイルプラン歯科グループ。「Everything for the patient. すべては患者様のために」という理念に基づき、それぞれのクリニックが個性を活かしたアプローチを展開している。

そのアプローチには、クリニックごとの個性が表れる。「スマイルプラン歯科クリニック西宮」のコンセプトは、デジタル化とグローバル化。海外から最先端の情報を収集し、世界標準の歯科医療を提供することが、患者さんの満足につながるかと山本恒一理事長は考える。



「日本でデジタル化が盛んになってきたのはここ数年ですが、海外では急速に技術が進んでいます。国内の歯科医療だけに目を向けるのではなく、海外のドクターや技工士から常に最新の技術やノウハウを取り入れることが、治療の水準を上げ、より多くの患者さんに満足いただける医療の提供につながるかと考えています」

「スマイルプラン歯科クリニック西宮」では、CTなどのデジタルを駆使した矯正治療を導入している。「口腔内スキャナーを通じて技工士とデータの共有を行ったり、衛生士に光学印象を任せて分業を進めたりすることで、スタッフ間の連携がよりスムーズに

なりました。また、口腔内の状況や術後のイメージをデジタルデータで可視化することにより、治療のゴールが明確化します。これによって患者さんにもより安心して治療を受けていただけるという大きなメリットを提供できています」とその効果に十分な手応えを感じているようだ。

院内のデジタル化は、治療だけにとどまらない。診察券はスマートフォンで提示してもらい、情報共有はデジタルサイネージで行う。衛生士による歯周検査データや光学印象もデジタル化することで、あらゆる記録が可視化され、業務の効率化につながっているという。

さらにクリニックの先進性は空間デザインにも反映されている。LED間接照明を多用した院内は、ファサードやインテリアと相まって近未来感を与えるが、患者さんを安心させるあたたかみも備えている。手術室やカウンセリング室には、スイッチひとつで不透明にできる調光ガラスを採用し、開放感とプライバシーを両立させるだけでなく、研修にも活用できる環境が整えられている。

また、衛生管理にも配慮が行き届いている。患者さんから見えにくいスタッフ動線上に消毒・滅菌室を配置し、衛生管理の専任スタッフを雇用するなど、効率的に衛生環境が整うシステムを導入。消毒作業などの衛生管理がシステムティックにできるという点でも、デンツプライシロナのトリートメントセンターは、業務の効率化に役立っているという。

「同じ想いで働く歯科医師やスタッフがこれからもっと増え、それがより多くの患者さんの喜びにつながるとうれいですね。私たちができる範囲でこの分野をリードすることが、日本の歯科医療の水準を上げることにつながっていけばと考えています」と語る山本理事長。最先端の技術を通してより多くの患者さんやスタッフの生活向上に関わり、そこから社会とよりよい関係を構築することが楽しみだと話した。



1,2. スイッチ1つで瞬時に透明・不透明の切替が可能な調光ガラスを採用。診療中は不透明に切り替え、患者さんのプライバシーを確保。オペなどの研修時には外から見学できる工夫がされている。3. 近未来的な印象を演出するLED照明。廊下や扉回りに採用することで、院内が非日常的なイメージに。4. コンセプトを表現したロゴデザインは、空間のポイントに。5. 先進感はサニタリーエリアにも。鏡上で照明を調節し、心地よい空間をデザインできる。6. 診療室への入り口をユニットごとに分けることで、患者さん同士やスタッフが交わりにくい動線を実現。7. パーテーションデザインは世界やデジタルを表現したポリゴンデータをモチーフに。クリニックのコンセプトが、細部にも表れている。8. ユニットの後ろに、衛生士の作業スペースを確保。その裏に消毒・滅菌室を設置し、器具は専用受け渡し口を利用する設計に。



Calming Comfort 2

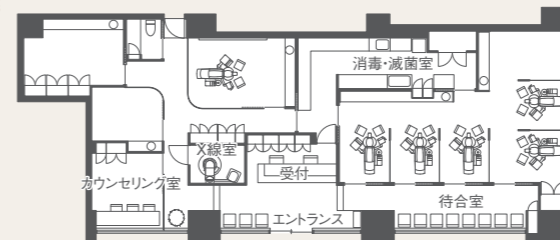
SMILE PLAN DENTAL CLINIC NISHINOMIYA
HYOGO



スマイルプラン歯科クリニック西宮

ADD : 兵庫県西宮市松原町4-1 西宮ステーションビル1F
TEL : 0798-34-5566
WEB : smileplan-nishinomiya.com

Floor plan



オジデザインワークス株式会社

Dentist

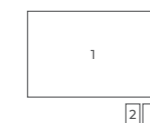


理事長 山本 恒一 先生

大阪大学歯学部卒業。2004年「やまと歯科クリニック」、12年「スマイルプランさくら歯科クリニック」、16年「スマイルプランオーク歯科クリニック」、20年「スマイルプラン歯科クリニック西宮」を開院。10年ニューヨーク大学インプラント科CDEコース卒業。

COCORO DENTAL NISHIAZABU

TOKYO



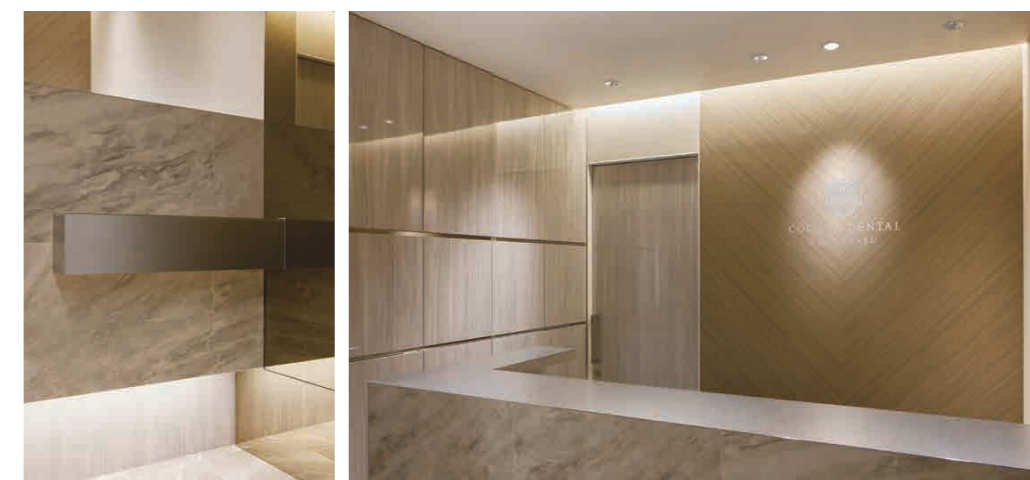
1.受付から診療室へ続く廊下。落ち着いた雰囲気の照明が、空間をやさしく照らす。2.受付台の細部も、落ち着いた空間デザインに統一。3.柔らかい照明やストーン素材が、上質でリラックスした印象の受付。4.5.6.院内には、ダークカラーのストーン素材など、ニュアンスのある素材を使用。多様な素材を組み合わせ、上質な空間をつくりあげている。遊び心のあるインテリアも、空間のいいアクセントに。



患者さんにも、スタッフにも
やさしいクリニックを目指して

COCORO DENTAL NISHIAZABU

東京都港区

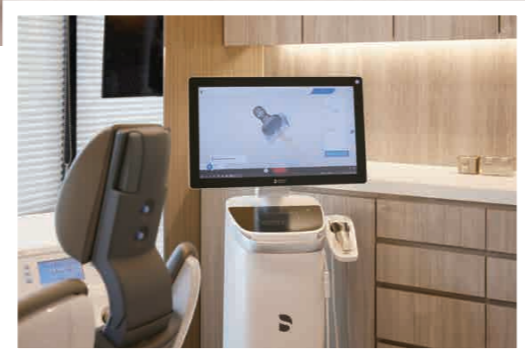




Calming Comfort 3
COCORO DENTAL NISHIAZABU
TOKYO

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

1. 広々とした個室診療室には、大きな窓を取り入れ明るく開放的に。2. 患者さんと口腔状況を共有しながら説明できる CEREC Primescan。3. ユニットやドクター用の椅子も、空間に溶け込む上品なブラチナ色に。4. 診療室には白いストーン素材を取り入れ、部屋をより華やかに。5. 受付までの落ち着いた通路が安心感を高める。



患者さんに寄り添うための、
環境へのこだわり

東京・西麻布にある、テナントビルの6階。エレベーターのドアが開くと、柔らかな光に包まれた心地よい空間が広がる。

約23坪という限られたスペースの中でレイアウトを考えたとき、小林弘樹理事長がこだわったのは3つの個室スペースだった。「口の中の話はデリケートなので、ほかの患者さんに会話を聞かれるのは、あまり気持ちよくはないかなど。個室であれば患者さんも相談しやすいと思うので、カウンセリングルームを兼ねた個室で治療を行っています。一方で狭いと閉塞感が出るため、完全予約制によって受付を最小限にするなどの工夫を重ね、広々とした個室空間を確保しました」

患者さんに満足いただける治療を提供するために理事長が設けた基準は、『自分が患者として通いたいか』どうか。「自分なら、プライバシーが守られる個室でしっかりと話ができて、きちんとした設備のある歯科クリニックに通いたいと思っています。時間をかけて患者さんとの関係を築いてきた結果、健康意識が高く、継続的に通院してくれる方が増えました。都内の狭い空間で広さを保った個室を設けることをハードルが高いという先生も多いと思いますが、適切な医療を提供できていれば、患者さんは診療が保険か自費かは関係なく応えてくれる



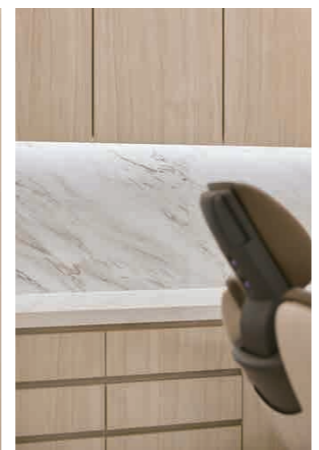
と思うので、経営的に成り立っていくと考えています」

治療の質へのこだわりは、設備選びにも反映されている。「忙しい患者さんにもしっかりと寄り添う短期治療やワンビジットトリートメントを提供するため、CERECとCTの導入を決めました。矯正も行っているため、SureSmileとの連動もとてもスムーズです。また、模型もデジタルデータ化されたため、保管スペースが不要となり、清潔感のある職場環境を保っています」

スタッフ自身が『働きやすい、自分もここで治療を受けたい』と思える環境づくりや治療の質の向上にも、デンツプライシロナは貢献している。「それぞれのスタッフが十分なパフォーマンスを発揮

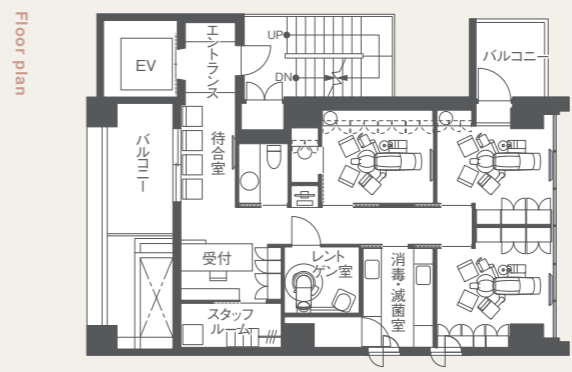
するには、よりよい設備や機器が必要となりますし、それが安心できる質の高い治療に反映されます。実際、当院では複数のスタッフがここで治療を受けています」

『患者さんを第一に考えた、やさしい場所にする』という理事長の想いは、ゆるぎない。「治療が終わったその後も定期的に通院いただけ、何年ぶりかに来院された方でも、お口に関して意識を持ち続けてもらえていることがうれしい。患者さんを支えるスタッフには、働きやすい環境を提供することを心掛けています。患者さんが安心して通い続けられるクリニックとして、そしてスタッフが意識を高めながら快適に働ける職場として、心地よい空間を目指しています」



COCORO DENTAL NISHIAZABU

ADD : 東京都港区西麻布4丁目1-5 同栄ビル6F
TEL : 03-6427-4590
WEB : cocoro-dental-nishiazabu.jp



オジデザインワークス株式会社



理事長 小林 弘樹 先生
2010年日本大学歯学部卒業後、日本大学歯学部附属歯科病院に勤務。
17年「COCORO DENTAL」、21年「COCORO DENTAL NISHIAZABU」を開院。

OSHIMA DENTAL OFFICE

CHIBA



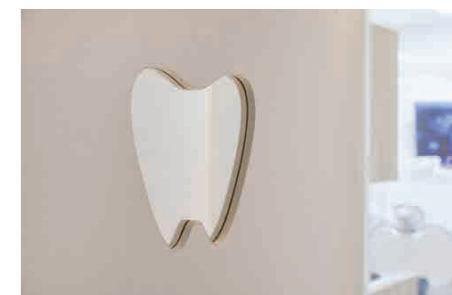
患者さんへの配慮を徹底し、
歯をできる限り残す治療を目指す

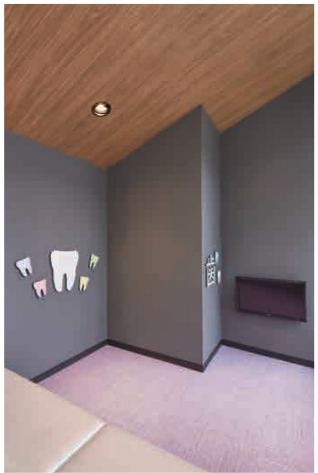
OSHIMA DENTAL OFFICE

千葉県四街道市

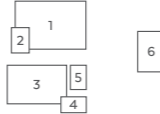


1. 木目の天井と、やさしい間接照明が院内に和やかな印象を与える。
2. X線室のドア小窓は歯をモチーフにしたデザイン。
3. サニタリーエリアはあたたかみのあるカラーを取り入れ、やさしい空間に。

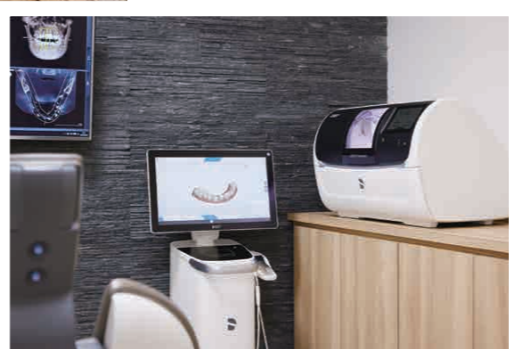




Calming Comfort 4
OSHIMA DENTAL OFFICE
CHIBA



1. 白を基調にテクスチャーの異なる組み合わせ、上質感のある待合室。外光をたっぷり採り込み、明るい雰囲気。2. 待合室の一角には、キッズスペースを確保。3. 院長がお気に入り話す診療室の壁には、黒いストーン素材を使用。ユニットシートをダークトーンにすることで、空間に統一感が生まれる。4. CERECやミリングマシンの洗練されたデザインが診療室に調和。5. モノトーンでシンプルにまとめた洗口エリアは、壁のタイルデザインがアクセント。6. 安心感のある衛生管理を目指し、消毒・滅菌室は患者さんから見えない設計に。



笑顔への妥協なきこだわりが
信頼へとつながっていく

「何か特別感を感じてもらえる空間をつくりたかった」と話す大島崇宏院長。ラグジュアリーホテルのような非日常感の中にも、どこか安心できる心地よさが感じられるクリニックには、患者さんを笑顔にするためのこだわりが詰まっている。ユニットを10台置ける広々としたスペースがありながら、6つの個室を採用したのも、患者さんへの配慮によるもの。「お金の話や歯周病の話は、やはり人に聞かれないだろうなと思って。一部屋ごとに火災報知器や埋め込み式エアコンを付けるとなると、それだけコストも上がりますが、それでも患者さんを想ったとき、個室空間は絶対に譲りませんでした」患者さん想いのクリニックであることは、消毒・滅菌室からも伺える。「徹底した衛生管理を行っていることがわかれば安心してもらえるので、消毒・滅菌室は患者さんから見える廊下に設けています。コロナ禍においても、いかに対策していくかをスタッフ全員で考え、システムの見直しや研修を行いながら、安心できる衛生環境を追求し続けてきました。自分やスタッフ、さらに私たちの家族が通っても安心できるクリニックであることが、私が目指すクリニックの基準になっています」また、オーラルフィジシャンのセミナー受講をきっかけに、歯を残す治療への譲れない想いが生まれたという院長。しか

し、当時の勤務先で導入を試みたときには、診療方針の相違があった。そして自身で開院へ。「開院後はアポイントメントを制限し、患者さんに向き合う時間を増やすことで、自信を持てる治療を提供できるようにしています。さらに私もスタッフも集中力をキープし、すべての患者さんに同じように接することができるように、18時に受付を終了するというルールを設けています」限られた時間で最適な治療を目指す院長は、設備にもこだわる。「開院するならユニットは絶対デンツプライシロナにしよう決めていたので、CTと一緒に導入しました」開院当時はCEREC購入を見送ったが、3年後の現在はCERECを使ったワンビジットトリートメントを採用している。きっかけは、CEREC導入セミナーであった。「昨今の主流である『象牙細管の早期封鎖』について、知見を深めたことが大きかったです。セミナーの翌日には、早速契約しましたね」CERECを活用することで、CKにせずエナメル質での保存ができるようになり、インレーのきわどい症例も可能になったという。今後は、CERECとCTの連携、インプラントプランニングに活路を見出すことが目標だ。また、天然の歯を残すためには、予防が大前提だと考える院長ならではの、予防歯科を担う衛生士に配慮した職場環境づくりも印象的だ。「予防歯科におけるドクターの役割は、う蝕の除去と

適切な補綴で、その過程を診ていくのは衛生士。だからこそ衛生士が力を発揮し、仕事の達成感を得られるよう、オフィスも兼ねた専用の診療室をそれぞれに持ってもらっています」受診者を増やすことよりも、治療の質が向上した先にある笑顔を重視する。そのための妥協のないこだわりが、患者さんはもとよりスタッフからの信頼にもつながっている。



OSHIMA DENTAL OFFICE

ADD : 千葉県四街道市四街道1-5-2 本間ビル101
TEL : 043-308-7973
WEB : oshima-do.com

Floor plan

株式会社ワンス建築デザイン

Dentist

院長 大島 崇宏 先生
2001年に東京歯科大学卒業後、06年に東京歯科大学大学院を卒業。東京都内・千葉県内の医院でご勤務後、18年に「OSHIMA DENTAL OFFICE」を開院。

Creating a Better Patient Experience Backed by Data

データに基づいた、よりよいクリニック体験の創造

医師やスタッフの親しみやすさや照明にあたたかみを持たせた待合室、くつろげる音楽と心地よい椅子。

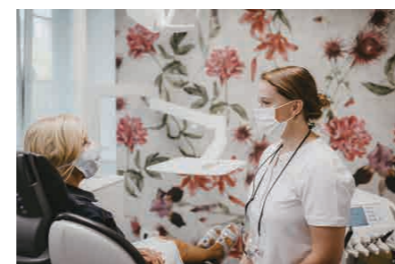
多くのクリニックで、患者さんの疲れや緊張感を和らげる環境づくりが行われています。

患者さんによりよい体験を提供するには、どのような要素が最も重要なのでしょうか。



Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany

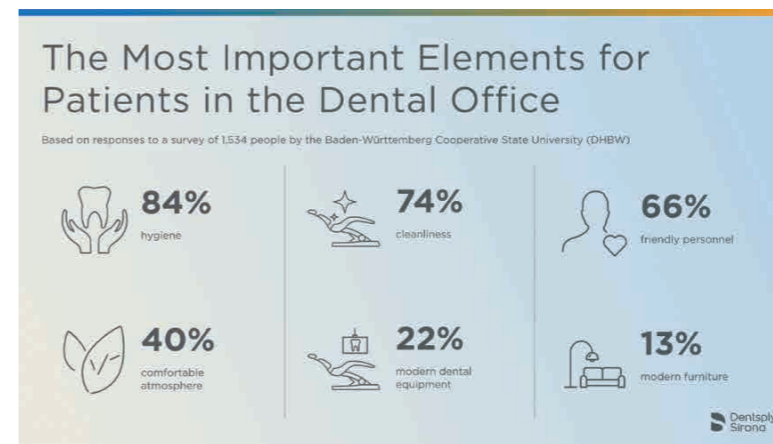
デンツプライシロナでは、歯科クリニックにおける患者さんのニーズをより深く理解するため、バーデン・ヴュルテンベルク連邦州立大学(以下、DHBW)に研究を依頼。2018年第4四半期に、Dr. Martin Kornmeier 監修のもと、ドイツとスペインで、マーケティング・リサーチの手法のひとつであるフォーカスグループが開催され、同数の若年層と中年層を対象に研究が行われました。また同時に、ドイツ、スペイン、フランスで、性別と年齢層がほぼ均等な18歳以上の1,534人を対象に、アンケート調査も実施しました。



Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany

DHBWの調査によると、患者さんが歯科クリニックで重視している要素は、衛生管理、清潔さ、スタッフの親しみやすさ、雰囲気よさ、最新の歯科設備、モダンなインテリアの順であることがわかりました。研究メンバーのひとりである Philipp Schank氏は、患者さんに寄り添うクリニックをつくる上で、デザインの重要性についてこう述べています。「クリニックを訪れる患者さんは、ベルトコンベア上の商品としてではなく、医師やスタッフからサポートされる、大切な存在として認めてほしいと思っています。安全や安心、快適さが感じられるクリニックデザインは、患者さんのそんな気持ちに寄り添い、診療体験をより楽しいものにします」

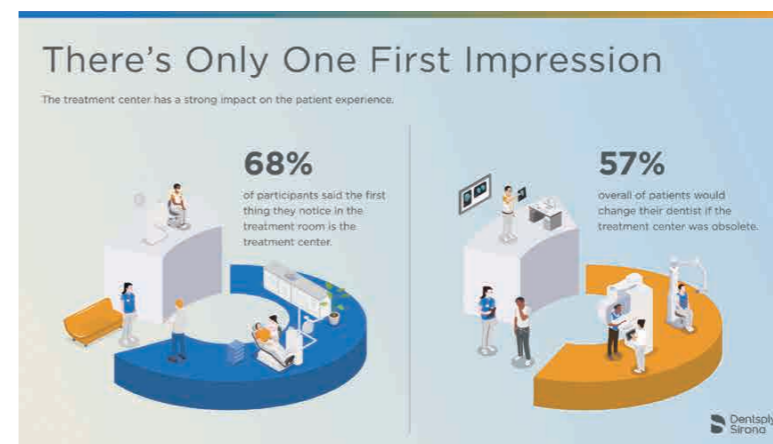
もうひとりの研究メンバーである Hélène Hung氏は、次のように述べています。「この調査によって、心地よい雰囲気をつくるためには、デザインの細部が非常に重要であることがわかりました。はじめての患者さんが、細部のこだわりが気づくことはないかもしれませんが、その小さなこだわりが歯科医師に対する評価や、かかりつけ医となり得るか、といった判断にも影響するのです」



患者さんが歯科クリニックで重視する要素

※DHBWによる1,534人を対象にしたリサーチに基づく

- 84% 衛生管理
- 74% 清潔さ
- 66% スタッフの親しみやすさ
- 40% 雰囲気よさ
- 22% 最新の歯科設備
- 13% モダンなインテリア



強い第一印象を与えるトリートメントセンター

※DHBWによる1,534人を対象にしたリサーチに基づく

68%の調査対象者が、診療室で最初に目に入ってくるものはトリートメントセンターだと回答。

57%の患者さんが、トリートメントセンターが時代遅れになった場合、歯科クリニックを変更すると回答。

Point

テクノロジーがもたらす利便性

今回のリサーチによれば、調査対象の63.4%がオンライン予約を希望し、71%以上がSMSによる予約のリマインドを希望しています。患者さんが若ければ若いほど、このようなサービスの重要性が高まります。

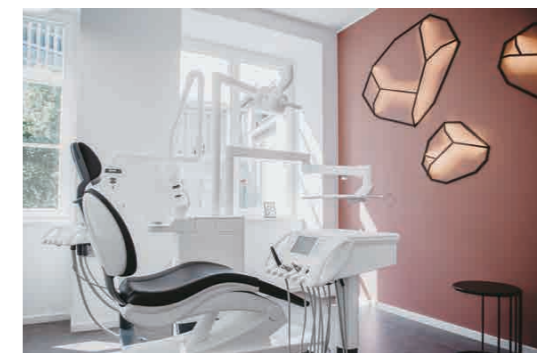


Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany

Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany



Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany





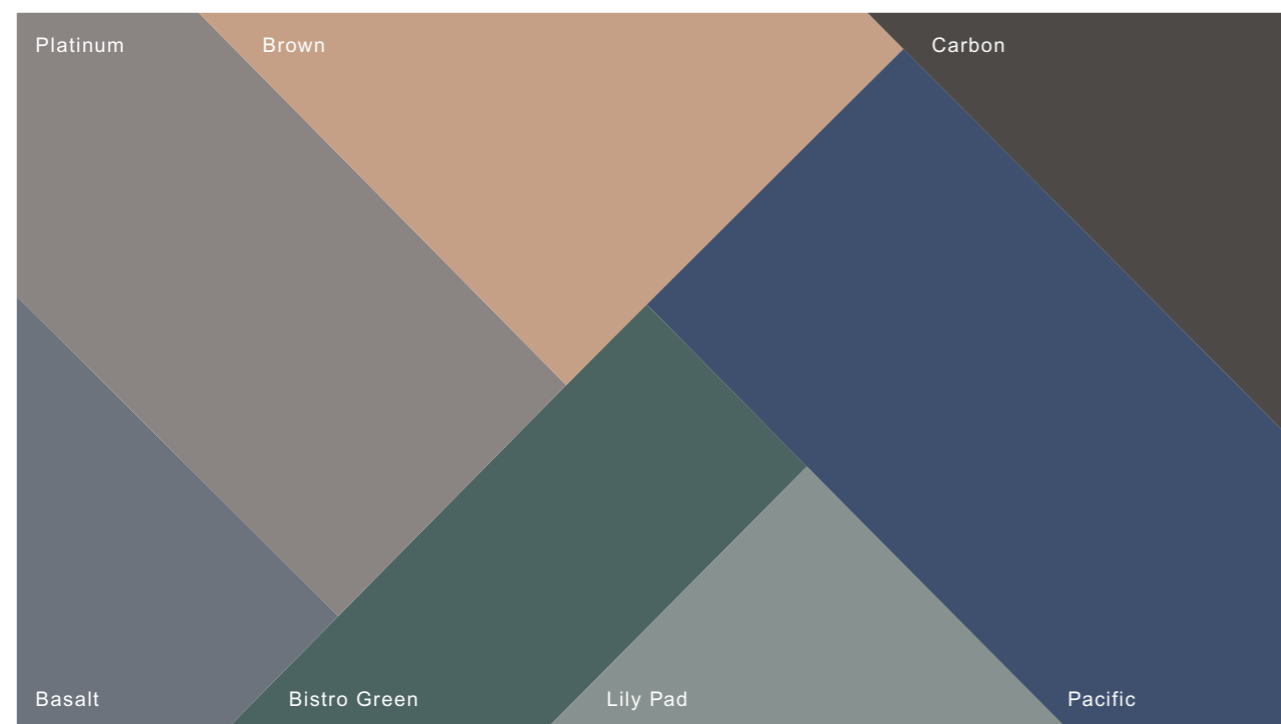
Densde Dental, China

Natural Perspective

洗練されたシンプルさを演出する“Natural Perspective”。
耐久性や持続可能性のある素材や、高性能で美的価値のある要素で構築されています。

カラースキーム

堅実さの中に、穏やかな雰囲気の漂う“Natural Perspective”。建材にインスパイアされたプラチナやカーボン、バサルトなどに、落ち着いたパシフィック、2色のボタニカルカラーとブラウンを加え、ナチュラルなカラーパレットが誕生。
どんな素材とも調和する色調で、なめらかな材質では豊かな色彩がくっきりと、複雑に組み合わせられた材質では色が混ざり合い、躍動感を感じさせます。



Solid ash wood side table with geometric design

(© Insert Table, ferm living, fermliving.com/)



自然から着想し、伝統とモダンを融合させたデザイン

洗練されたシンプルさと、機能美が特徴の“Natural Perspective”。空間デザインには、持続可能性や耐久性を考慮した素材が多く、テクノロジー社会に対応するために先進機能を組み込むことも。室内に自然光をたっぷり取り込める窓とその眺望のよさも特徴のひとつです。また、室内環境を整え、患者さんにリラックスとリフレッシュ効果をもたらす植物も、その存在感をますます強めています。

素材とインテリア

木材やガラス、革など、耐久性と美しさを追求した天然素材のほか、塗装した金属もよく用いられます。椅子は、堅苦しさのないのびやかな印象。また、リラックス効果のある家具に、スマートフォンやタブレット端末の充電ステーションを内蔵するなど、伝統とモダンが融合したデザインも特徴的です。



Green leather designer chair

Iconic Barcelona Chair by Ludwig Mies van der Rohe.
(© Knoll, Barcelona Chair, Bauhaus Limited Edition 2019, www.knoll.com/)



Bonbori Lamps

Bonbori Collection: Outdoor lamps created by Japanese designer Fumie Shibata. These lamps provide soft, gentle light and are inspired by traditional Japanese paper lanterns. (© Bonbori collection, Designed by Fumie Shibata, Brokis, www.brokis.cz/)

Natural Perspectiveの空間デザイン

クリニック内に自然光や庭の景色など、屋外の要素を取り込むことができる“Natural Perspective”。観葉植物をアレンジすることで、屋内でも部屋に緑を溶け込ませ、静かで落ち着いた雰囲気を演出することができます。同時に、空間を区切る要素を取り入れることで、患者さんのプライバシーを守る環境づくりも行えます。



Sofa with integrated power cable system

Shiraz by Philipp Mainzer and Farah Ebrahimi: A flexible system of seat elements, cushions and back pieces as an example of modern function combining with tradition. (© e15, Shiraz Sofa, www.e15.com)

Natural Perspective 1

TENJIN NISHIDORI DENTAL CLINIC

FUKUOKA



1. スタイリッシュでありながら、ぬくもりを感じる空間デザインが印象的な待合室。患者さんがくつろげるよう広くスペースを取ったこのエリアは、院長の一番のお気に入り。2.3.4. 天井から吊り下げられた照明が、室内を華やかに演出。



Natural Perspective



スキルを磨く環境をつくり、
スタッフとともに前進する

天神西通りデンタルクリニック
福岡県福岡市



Natural Perspective 1
TENJIN NISHIDORI DENTAL CLINIC
FUKUOKA

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

1.お気に入りの詰め込んだというクリニック内。照明などのインテリアにも院長のこだわりが光る。2.サニタリーエリアは、内装や家具材に表情の異なる木を用い、ぬくもりとモダンさが共存する空間に。3.写真が飾られた通路は、ギャラリーのような雰囲気。4.白い壁に、シックなカラーのシートが映える診療室。5.シートの色にアンブラを採用した診療室は、壁色と相まってやさしい雰囲気。

クリニックの成長が
患者さんの喜びにつながる

2021年、理事長の藤波淳先生と奥様で院長を務める美和先生のおふたりが開院した「天神西通りデンタルクリニック」。歯の健康維持をコンセプトに掲げ、治療と予防をそれぞれの専門スタッフが担う。「患者さんひとりひとりに最適な医療を提供するためには、専門知識を有するスタッフの育成が欠かせません。そのため、当クリニックでは人材育成に時間をかけ、スタッフのスキル向上に注力しています」と理事長は話す。

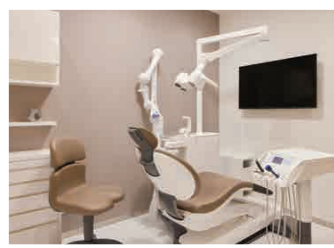
スタッフがスキルを磨くための環境づくりは、徹底して行われている。講習や練習を行うためのスペースを広く設け、さらに100時間以上の研修とテストを実施。合格者のみが実務を担当するなど、スタッフが段階的に腕を磨き、実務

で発揮できるようにカリキュラムが組まれている。「学んだことを自分のものにしてほしいと願えばこそ、研修にはしっかりと時間を割いています。スタッフが自立し、自らPDCAを回せるようになると、後輩育成も担えるようになります。そのような成長が、スタッフ自身の喜びにもつながっているようです」と院長。

理事長も常に技術を磨き続けている。歯並びなどの美しさと咬合を両立させる治療や、健康的な歯を保つ口腔メンテナンスによって、患者さんの笑顔を見られることがモチベーションになっているという。その技術を支えているのが、デンツプライシロナの製品である。「どのような治療をするにも使いやすいユニットやタービンは、10年以上使っていますが一度もストレスを感じたことはありません。マイクロスコープで細かいところまで見るために、患者さんのヘッドレ

ストを大きく下げても、快適な姿勢が保たれることも驚きです。ユニットに付随した洗浄システムも、操作が簡単でも気に入っています」

以前からデンツプライシロナのデザインが好きで、開院後の導入を決めていたと話す理事長。都会的で洗練された雰囲気と自然なあたたかみを融合した内装に合わせて、シートカラーは



モダンなカーボンや柔らかなアンブラを採用した。シンプルかつスタイリッシュなユニットは、アートギャラリーのような空間デザインとも調和し、心地よい空間を演出している。

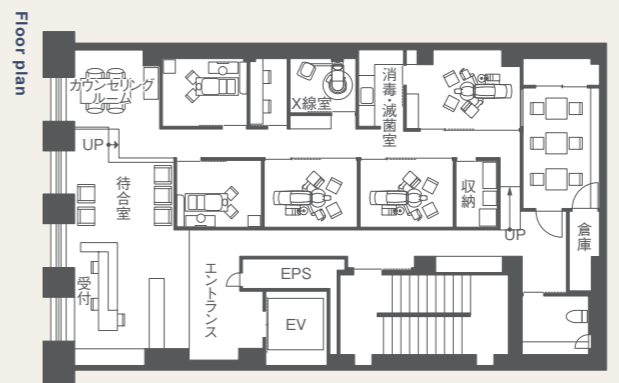
高い技術を備え、やさしく洗練された雰囲気を持つこのクリニックに興味を示して来院される患者さんは、歯の健康や口腔内に関心が高く、前向きな方が多いという。「立地と空間デザインを一新してから、新規の患者さんに興味を持っていただける機会が増え、県外から来院される方も増えました」

クリニックの経営計画が形になってきていることがうれしい、と語る理事長。「計画が波に乗っているということは、スタッフひとりひとりがビジョンを理解・共有し、一緒に成長している、ということだと思っています。それを見届けながら、ともに前進していけることがうれしいです」



天神西通りデンタルクリニック

ADD：福岡県福岡市中央区大名2丁目1-10 ビームス福岡ビル4F
TEL：092-725-4000
WEB：tenjindc.com



株式会社ダリアート



理事長 藤波 淳 先生(左)
院長 藤波 美和 先生(右)
福岡歯科大学卒業後、同大学に勤務。2006年「AKASAKAけやき通り歯科」を開院。21年5月「天神西通りデンタルクリニック」を開院。日本歯周病学会会員、NDS会員ほか。

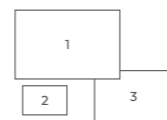
SHIKI DENTAL CLINIC

YAMAGUCHI



デンタルケアの意識が育まれる
緑を囲むクリニック

椎木デンタルクリニック
山口県宇部市

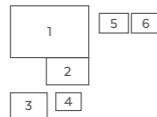


1. 待合スペースから見える中庭の緑は、患者さんの気持ちを落ち着かせる効果も。2. 木の床や壁を採用することで、心安らぐ、癒しの空間を演出。3. 四季折々にさまざまな表情を見せる庭木が、クリニックに彩りを添える。患者さんの目線と植物の高さを合わせることで、視線を遮り、プライバシーを確保している。



Natural Perspective 2
SHIIKI DENTAL CLINIC
YAMAGUCHI

1. トリートメントセンターのシンプルなデザインが、庭の景観とも調和している。2. 中庭を見渡せるカウンセリング兼ミーティングルーム。3. ゆとりを持った半個室の診療室。LED照明と自然光が室内を明るく照らす。4. スタイリッシュなロゴにも、自然体なクリニックの姿勢が表れている。5. 日が暮れると中庭はライトアップされ、幻想的な景色に。6. 白い外壁に、ライトアップされた木々の影が映り、昼間とは違った表情が楽しめる。



患者さんとスタッフがともに成長するクリニックを目指して

交通量の多い国道沿いに立地する「椎木デンタルクリニック」。その環境下でも、患者さんやスタッフが落ち着ける空間をつくるために、椎木彰宏院長が取り入れたのは、中庭の緑を囲む回廊式の建築設計だ。「屋外の喧騒から切り離された空間にするため、診療室やカウンセリング室、待合室がすべて中庭に面するつくりになりました」

患者さんと施術者が描くゴールには認識の差が生まれやすいため、互いの認識を限りなく近づけられるよう、カウンセリングの時間を大切にしているという院長。だからこそ、患者さんだけでなく医師やスタッフも、安心して会話ができる環境づくりにこだわった。「別室の患者さんと視線が合わないように、中庭の緑は患者さんの目の高さに合わせた植栽

にするなど、プライバシーの確保にも配慮しました。四季の移ろいや、自然の光を感じながら自分自身の歯と向き合う時間を過ごしてほしいので、テレビや雑誌を置かずシンプルな空間にしています」

このような治療に集中できるスッキリとした院内という方針に、デンツブライシロナのユニットがマッチした。「シンプルかつスタイリッシュなデザインが気に入りました。実際に使ってみて、ユニット内で清浄水を提供できたり、形成もしやすいなど、性能の高さを実感しています」

また、治療において院長が大切にしているのが、患者さんに口腔ケアの知識を共有し、自発的に歯を守る意識を育てること。「歯科医が携われるのは一部で、実際は患者さんが日々の中でケアする時間の方が長くなります。だからこそ、ご自身でしっかりと意識しながらケアできるよう、患者さんにお口の中の状態をゼロから丁寧に説明し、ブラッシングの

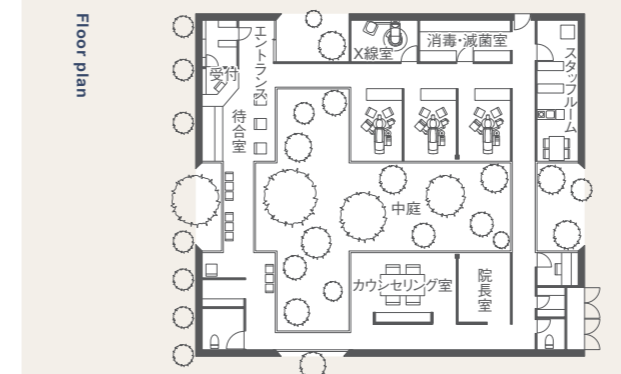
方法から治療内容まであらゆる知識を提供しています。時間をかけて信頼関係を築き、口腔ケアへの意識を高めることで、痛いから来るのではなく、来たいから通う場所が変わっていくと思います」

成長するのは、患者さんだけではない。衛生士にも高いレベルを求める院長は、治療計画を衛生士とともに考え、二人三脚で患者さんに向き合う。その中で、ゴールへ到達するまでの過程を衛生士が自ら考え、学んでいくことが大きな成長につながると考えている。

「季節ごとに私たちの目を楽しませ、変化し続ける中庭の木々のように、私もスタッフも、患者さんとともに成長し続けたいと思っています。30年、40年後の、地域のデンタルケアへの意識向上を目標に、これからも患者さんとしっかりと向き合っていきます」と将来への展望を伝えてくれた。

椎木デンタルクリニック

ADD : 山口県宇部市大字妻崎開作 839-1
TEL : 0836-77-9473
WEB : shiiki-dental.net



設計・デザイン: 松田設計事務所、SEPO DESIGN INC.



院長 椎木 彰宏 先生

2011年に広島大学歯学部卒業。
広島県内、山口県内の歯科医院で勤務後、
21年5月「椎木デンタルクリニック」を開院。

OCEAN DENTAL OFFICE MINATOMIRAI
KANAGAWA



より多くの患者さんのために
やさしく、質の高い医療にこだわる

OCEAN DENTAL OFFICE MINATOMIRAI
神奈川県横浜市

すべての患者さんに寄り添い、
ともに治療を行う意識を育てる

四季の光も街路樹の美しさも感じられる、全面ガラス張りの外壁。洗練されたカフェのようでありながら、身近なあたたかさを感じる空間。そこに、梶原基弘院長が目指した理想のクリニックの姿がある。

すべての患者さんの受け皿となる医療を提供することが信条と語る院長。「その実現には、妥協のないクリニックの環境づくりと、スタッフの働きやすさの両輪が欠かせません」

その姿勢は、まずクリニックの開放的な空間に表れている。約30坪に6つの個室診療室を設けているが、患者さんに心地よく受診・治療を受けてもらえるよう、レイアウトや設備の配置には数センチ単位でこだわったという。さらに、患者さんとスタッフの動線分離も実現。それは移動のしやすさだけでなく、スタッフが動線上からすべての部屋の診療

状況を把握でき、互いに気配り・目配りをしやすい環境がつけられている。

横浜のオフィス街という立地と、健康意識の高い近隣住民のニーズに合わせて、CERECによるワンビジットトリートメントやセラミック治療を主軸としつつ、保険治療も受け入れているため予約数は多い。限られた時間の中でも、院長が大切にしているのは患者さんとの丁寧なコミュニケーション。「個室は落ち着いて話することができる空間づくりを意識しています。治療前、途中、そして治療後に口腔内を撮ることで、患者さんと患部の状況や問題解決の方向性などを共有しながら、『一緒に治療を行った』という意識を持ってもらえるようにしています」

患者さん目線で、深いコミュニケーションを図り、よりよい医療を目指す。その患者さんに寄り添う姿勢は機器の選定にも表れている。デンツプライシロナのトリートメントセンターを導入したきっかけは、高い機能や性能をもたらすフィロソフィーへの共感から。「医師だけでな



1.天井の高さを生かしたスタイリッシュな「RECEPTION」サインが印象的な受付。
2.全面ガラス張りの窓から見える街路樹と屋内の観葉植物が、安らぎをもたらす待合スペース。
3.看板の代わりに掲げた、象徴的な歯のネオンサイン。
4.ミリングマシンをインテリアのようにレイアウト。患者さんも作業のプロセスを見ることができる。
5.診療室裏のスタッフ動線と短いバーションにより各ユニットの診療状況を一目で把握でき、かつ患者さんのプライバシーを守る絶妙な設計。
6.白で統一された個室診療室に、ユニットのシックなカラーがよく映える。



く患者さんのことも考えて、水の浄化システムが入っていたり、歯髄炎にならないように注水量が多かったりと、細かな配慮が施されているところが気に入りました。CTに関しては、インプラント医としてはCTの画質に対する満足はもちろん、高画質で隣接面までしっかりと見ることのできる、デンツプライシロナのパノラマ画像は非常に役立っています」

また、デジタル化は機器のみにとどまらず、カウンセリング時にはタブレットで説明を行い、予約管理や患者データもすべてパソコン上で管理するなど、さまざまな取り組みを推進している。「スペースの限られたクリニックでは、コンパクトな受付はもとより、ペーパーレス化や情報の統合が有効です」

よりよいクリニックづくりのために、自身の研鑽も欠かさない院長。「いつも、昨日より向上したいと思いつけています。CTは形成を分析しながらチェックできるので、歯科医師としてのレベルを上げるためのツールとしても役立っています」とのこと。より質の高い医療の提供を目指す院長は、今日も妥協のない姿勢で挑み続けている。



Natural Perspective 3

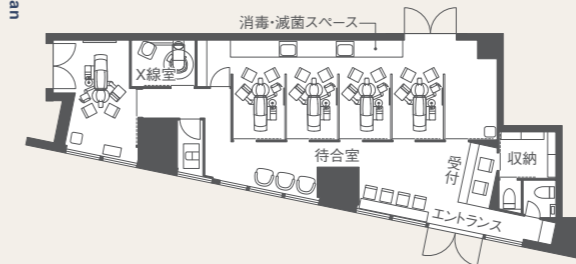
OCEAN DENTAL OFFICE MINATOMIRAI
KANAGAWA



OCEAN DENTAL OFFICE
MINATOMIRAI

ADD: 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-3-6 ずずかけ通り西交差点 KTビル1F
TEL: 045-306-8224
WEB: ocean-mm.com

Floor plan



株式会社西脇一郎デザイン事務所

Dentist



院長 梶原 基弘 先生

東京都・神奈川県の医院で勤務後、2020年に「OCEAN DENTAL OFFICE MINATOMIRAI」を開院。九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野(口腔インプラント学)大学院歯学博士。

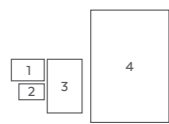
TOMIZAWANISHI EB DENTAL CLINIC

MIYAGI

時代の変化を見つめ、
多様性に応えるクリニック

富沢西EBデンタルクリニック

宮城県仙台市



1. 診療室のスペースを広く取り、患者さんのプライバシーを確保。また、通路幅も広めに設計することで、スタッフの働きやすさも考慮。2.「透明性」がコンセプトだからこそ、外壁にガラス張りを採用。開放的かつあたたかみのある外観に。3. 窓のそばに

設けられたフリースペースは、地域の方々も利用できる空間として開放されている。4. 大きな窓からは光がたっぷりと降り注ぎ、開放感とぬくもりを感じながら治療を受けることができる。





Natural Perspective 4
TOMIZAWANISHI EB DENTAL CLINIC
MIYAGI

**空間デザインも治療も
透明性を大切に**

目まぐるしく変化する時代。だからこそ、多様な価値観を認めることがより重要になっていると、衣斐明院長は考える。さまざまな人々が集い、交わる場所を目指してつくられた「富沢西EBデンタルクリニック」は、訪れる人すべてを尊重する、開放的な雰囲気に溢れている。

これからの歯科医療は、多様なライフスタイルや経済背景に寄り添う必要がある、と院長は語る。あらゆる患者さんのニーズを満たす医療を提供するためには、専門性や認定制による制約を超えて、ひとつのクリニック内で提供できる選択肢の幅を広げることが必要になる。そのためには、医療機器メーカーのツール活用が必須だという。「研修を受けてしっかりと習得すれば、開業医でもさまざまな医療に携わることができるので、患者さんにより多くの選択肢をご提供できます。当クリニックでは、デンツプライシロナのユニット8台とCT、CERECを導入し、それらを治療の軸としています」

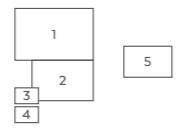
クリニックが最も大切にしているコンセプトは、透明性。患者さんひとりひとりに、常に治療内容を丁寧に説明し、情報をクリアにすることが安心につながると、院長は考える。また、カフェを併設し、クリニック内の一部を地域の方が利用できるフリースペースとして開放するなど、公共性にもこだわった。もちろん空間デザインにも、コンセプトに基

づく工夫が活かされている。「多くの人にとって、いちばん魅力的な場所は、誰もが気軽に立ち寄ることのできるのびやかな空間だと考えました。そのため、柱をなくして空間を広げ、外壁はガラス張りを採用しています。待合室やカフェコーナーなど、みなさんがくつろげるスペースを設けるなど、開放的かつあたたかみのあるデザインにこだわりました」

時代のニーズを把握し、柔軟に患者さんに寄り添う姿勢は、コロナ禍でも役に立ったという。「空間を広く取るオープンな建築設計のため、密を避けられ、安心できる場所を確保できました。そのため、この大変な時期でも新規の患者さんに多くご来院いただきました。時代に最適な医療や空間を提供することが、クリニック自体のファンを増やすことにつながると 생각합니다」

クリニックの人材育成において最も大切にしているのも、多様な価値観の尊重。そして、各スタッフの個性や考え方を活かしながら、頼れる人材を育成するためには、時代が変化しても変わることのない基本姿勢を身に付けることが重要だと、衣斐院長は話す。「現代社会の変化に柔軟に対応するためには、その変化の目まぐるしさに左右されないで『相手を思いやる心』を磨くことが大切になると思います。それを教育の基本にしています」

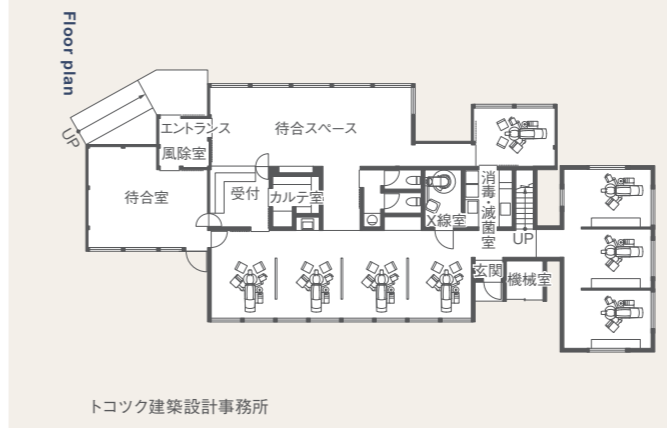
時代に合わせたアップデートを続けながらも、思いやりの精神を常にその基本とする、患者さんにやさしいクリニックづくりを実践する衣斐院長。歯科界だけでなく、広く社会にも目を向けるその取り組みは、クリニックと多くの人たちをよりよい関係へと導いている。



1. 柱をなくし、広々とした空間を確保した待合スペース。ソーシャルディスタンスが十分に取れるため、時代のニーズにもマッチしている。2. 壁に飾られたアートが、心安らぐやさしい空間を演出。3.4. 待合室には、カフェコーナーを設置。大きな窓から降り注ぐ光が、治療前の緊張を和らげる。5. 木のぬくもりに包まれた診療室。木製インテリアは、リラックスを促す効果も。

富沢西 EB デンタルクリニック

ADD: 宮城県仙台市太白区富沢字鍛冶屋敷前42-1(39-1B-1L)
TEL: 090-9030-7788
WEB: tomizawanisi.com



院長 衣斐 明 先生
朝日大学歯学部を卒業。
医療法人盛真会の理事長を務め、2019年「富沢西EBデンタルクリニック」を開院。

トコック建築設計事務所

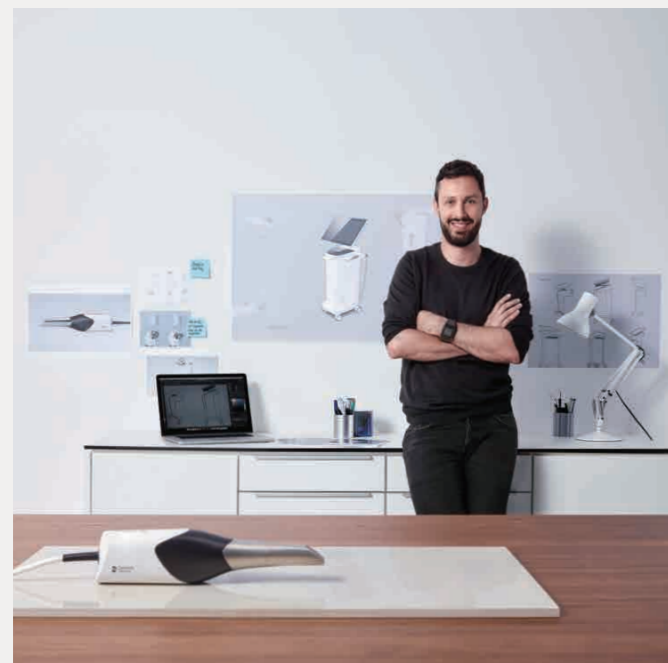
Insight from Dentsply Sirona's Design Director

デザイン担当ディレクターの視点

デンツプライシロナのデザイン担当ディレクター、Florian Sobirey は製品のデザインだけでなく、

製品によるソリューションを常に念頭に置いています。

今回は、彼がその視点から、デンツプライシロナのデザインプロセスやデジタル化、そしてユーザーエクスペリエンスのこれからについて語ります。



Florian Sobirey



Dental Boutique Gold Coast, Australia

— 製品のデザインプロセスについてお聞かせください。

私たちの仕事は決められた製品アイデアから発想するのではなく、「医師や患者さんの診療体験を向上させるにはどうすればよいか」というシンプルな問いかけからはじまります。つまり、白紙からのスタートです。そこで重要となるのが、ユーザーの理解です。まずは彼らのニーズを知るために、歯科医師やオフィススタッフ、患者さんに徹底的にインタビューを行い、彼らのニーズを把握しています。また、アイデアを練る段階で大切にしているのが、製品のデザインだけでなく、製品によるソリューションを考えること。そうすることで、あらゆる制約を超え、常に革新的な考えを生み出せるのです。CERECのようなイノベーションも、このようなデザイン思考によって生み出されました。この一連のプロセスは今後も歯科医療業界に革新をもたらし続ける原動力となるでしょう。

— デジタルエクスペリエンスや、コネクティビティに対するデンツプライシロナの理念とは？

私たちの目標は、製品のポートフォリオ全体を通して、シームレスで一貫した使いやすさや操作感を実現すること。このアプローチが、技術主導の製品デザインからユーザー視点のソリューション提供への転換を可能にします。

— 今後のトレンドや展開についてお聞かせください。

数年前からすでに、デジタルトランスフォーメーションが歯科医療でも最大のトレンドのひとつとなっています。近い将来、ビッグデータとAIの活用が、ほぼすべての分野で決定的な成功要因となることは間違いのないでしょう。また、歯科医師にとっても、デジタルの活用は治療効果を上げるとともに、医療ミスの軽減にもつながると期待され、さらに患者さんの治療体験の向上にも貢献するとされています。さらに、自分の健康状態を把握できるスマートウォッチやフィットネス用のトラッキングバンドなど、ウェアラブルデバイスの台頭により、体調管理に対する意識も高まっています。健康増進に意欲的に取り組む人が増えたことで、医療だけでなく、美容を目的とした治療の需要も増加しています。今後、そのような需要に応えていくことが求められるでしょう。

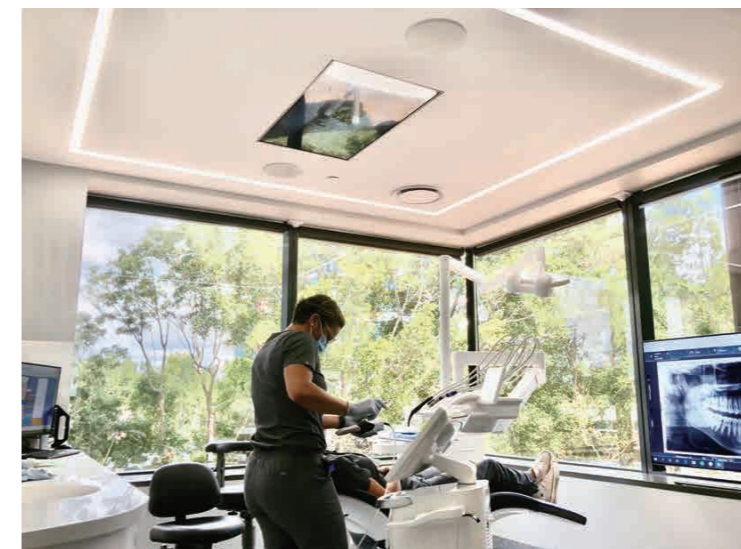


Lieblings-Zahnarzt Köln, Germany

Otter Dental, USA



Dental Boutique Gold Coast, Australia



Point



Axeos

製品のイノベーションとデザインの役割

優れたデザインとは、革新的で持続可能性があり、包括的なものであるべきです。「デザインは機能性も持ち合わせることで完成されます。私たちデザイナーは最先端テクノロジーを、日々の業務を効率化し、患者さんやユーザーに優れたエクスペリエンスを提供するデザインへと昇華する役割を担っています」と、デザイン担当ディレクターのFlorian Sobirey は語ります。

ミニマルでエレガント、さらに使いやすさを追求した当社の製品デザインは、どんな歯科クリニックの雰囲気にもスムーズに溶け込みながらも、キャッチーな魅力を持っています。「落ち着いたデザインは、患者さんにも好評です。デザインで患者さんに寄り添うことは、顧客満足度を高めるためにもとても重要なことです」

たとえば数々の受賞歴を誇るAxeosは、先進的な照明デザインにより『最先端の診療を受けている』という実感を患者さんにもたらします。

Successful Treatment Ergonomics Makes all the Difference

人間工学に基づく製品設計が違いを生む

デンツプライシロナでは、歯科医師の身体的ストレスの軽減と、患者さんの快適・安心との両立を目指し、人間工学に基づく製品設計を行っています。

[更に詳しくはこちら](#)

www.dentsplysirona.com/ja-jp/explore/treatment-centers/ergonomics.html



Praxis Burgergut, Switzerland



体に負担を掛けない座位診療の基本姿勢



患者さんの頭部ポジショニング



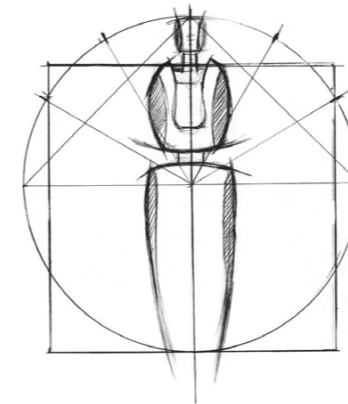
フットスイッチにも人間工学を活用



フォーハンド治療のポジショニング

なぜ人間工学が必要なのでしょう？

人間工学は、歯科クリニックのワークフローをよりスムーズに、簡潔に、そして洗練されたものにする大切な要素です。そこに、よりよい治療結果への解答があります。

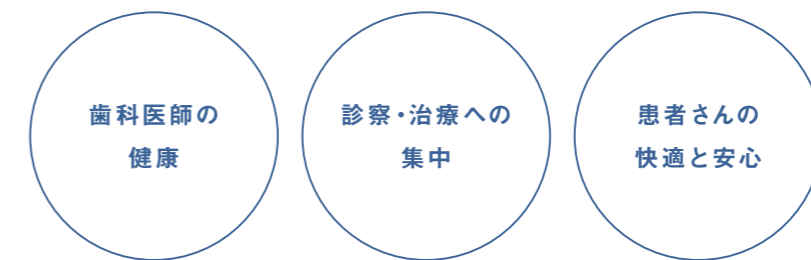


- 体の負担を最小限に抑える
- 作業能力を維持する
- 仕事をより楽しむ
- 作業品質を維持する
- よりプロフェッショナルな姿勢

よりよい治療結果につながる

人間工学は、歯科クリニック成功のための重要なファクターです。

〈人間工学的に重要な3つのファクター〉



よりよい治療を提供するためには、人間工学を取り入れた環境づくりが重要だと、私たちは考えます。人と設備と空間を、適切なバランスで調和させ、日々のワークフローによる身体的なストレスを軽減することは、高い生産性とよりよい治療につながります。それは、患者さんの快適・安心や信頼にもつながり、クリニックを成功に導きます。

革新的な歯科医療を実現する



よりよい治療を提供するために

歯科医療の中核として、患者さんの体験形成に重要な役割を果たすトリートメントセンター。デザイン性に優れた快適なトリートメントセンターは、クリニックの第一印象をよくするだけでなく、診療に要する時間の感覚や歯科医師への印象にも、ポジティブな影響を与えます。人間工学に基づいたデザインや高い機能性、ヨーロッパ基準の衛生管理機能を備えるデンツプライシロナのトリートメントセンターは、歯科医師のよりよい治療をサポートします。



Sinus

効率性・快適性・安全性と美しさのバランスに優れたトリートメントセンター。ヨーロッパの厳しい衛生基準に準拠した、ハイジーンシステムを標準装備。



Intego

ハイエンド機種と基本コンセプトを共有したモデル。人間工学に基づく効率性や快適性と、スタイリッシュなデザインをハイエンド機種から継承したシンプルな構成のトリートメントセンター。

デンツプライシロナの PRODUCTS



より洗練された治療のためのデジタルワークフロー

従来の印象採得から、デジタルによる口腔内3Dスキャンへの移行は、患者さんのストレス軽減や治療時間の短縮など、さまざまなワークフロー改善につながります。また、精度の高い口腔内の3Dデジタルスキャンは、院内のワークフローおよび、ラボや外注先との連携をより簡潔、迅速、正確なものとし、精度の高い義歯などの製作を実現します。補綴、インプラント、矯正などの幅広い分野において、口腔内スキャナーは多くのベネフィットを提供します。



CEREC Primescan

次世代のデジタルデンティストリーを創造するPrimescan。さらなる精度、スキャンスピード、操作性[※]の向上により、チェアサイド、そしてデジタルラボや外注先とのワークフローを効率化。
*当社従来機比較



Axeos

高解像な画像により精密な診断をサポートし、さらに治療計画のソリューションへと連携するデジタルデンティストリーのためのパノラマ(口腔内スキャン) / セファロ(矯正歯科用レントゲン) / CT 複合機。



SureSmile アライナー

歯根まで可視化が可能になった^{*}、アライナー(マウスピース) 矯正プラットフォーム。
*オプション

多くのデザインアワードを受賞

トリートメントセンターは「iF DESIGN AWARD」や「red dot design award」など、世界的に権威あるデザインアワードを多数受賞している。



reddot design award



一般的名称：歯科用ユニット
販売名：シロナ SINIUS
認証番号：224AABZI00065000
管理医療機器
特定保守管理医療機器
設置管理医療機器

一般的名称：歯科用ユニット
販売名：シロナ INTEGO
認証番号：226AABZ00151000
管理医療機器
特定保守管理医療機器
設置管理医療機器

一般的名称：チェアサイド型歯科用
コンピュータ支援設計・製造ユニット
販売名：セレック プライムスキャン AC
承認番号：30100BZX00044000
管理医療機器
特定保守管理医療機器

一般的名称：アーム型 X 線 CT 診断装置
販売名：アクセオス
認証番号：302AKBZX00062000
管理医療機器
特定保守管理医療機器
設置管理医療機器

一般的名称：歯科矯正用治療支援プログラム
販売名：SureSmile ソフトウェア
承認番号：30100BZX00187000
管理医療機器

一般的名称：歯科矯正用レジジン材料
販売名：Essix Plastic シート
認証番号：225AKBZX00098000
管理医療機器

Our Purpose and Mission

デンツプライシロナは、人々の健康な笑顔のために自信をもって革新的なソリューションを創造し、常に顧客を力づけます。
当社は、独自のビジョン、目的・ミッション、価値観、経営理念からなる企業文化に基づいて活動を行っています。
この企業文化は、私たちが何者であるか、何を求めているのか、そしてなぜ事業活動に日々取り組んでいるのかを示します。

企業文化が私たちの特質を示し、目指すべき方向となります。
つまり、これがデンツプライシロナのアイデンティティです。

Branches and sales offices located in Japan



東京・銀座ショールーム

ADD : 東京都中央区銀座 8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル 5F
TEL : 03-5148-7895
FAX : 03-5148-7820
Email : Japan-Info@dentsplysirona.com

札幌ショールーム

ADD : 北海道札幌市北区北八条西 3-32
8・3 プラザ 201号室
TEL : 011-709-5800
FAX : 011-709-5810

盛岡ショールーム

ADD : 岩手県盛岡市中央通 2-2-5
甲南アセット盛岡ビル 1F
TEL : 019-604-2340
FAX : 019-604-2341

仙台ショールーム

ADD : 宮城県仙台市青葉区花京院 2-1-65
いちご花京院ビル 2F
TEL : 022-266-4020
FAX : 022-266-4030

埼玉ショールーム

ADD : 埼玉県さいたま市中央区上落合 1-11-15
アスク新都心ビル 4F
TEL : 048-799-2931
FAX : 048-799-2937

横浜ショールーム

ADD : 神奈川県横浜市神奈川区金港町 3-1
コンカード横浜 4F
TEL : 045-440-1521
FAX : 045-440-1522

静岡ショールーム

ADD : 静岡県静岡市葵区栄町 2-10
1192ビル 1F
TEL : 054-653-2711
FAX : 054-653-2712

名古屋ショールーム

ADD : 愛知県名古屋市中区栄 5-28-19
アルティメイトタワー 栄 V 4F
TEL : 052-251-8467
FAX : 052-251-8466

大阪ショールーム

ADD : 大阪府大阪市中央区
北久宝寺町 3-5-12
御堂筋本町アーバンビル 7F
TEL : 06-6243-6636
FAX : 06-6243-6637

広島ショールーム

ADD : 広島県広島市中区立町 2-25
IG 石田学園ビル 10F
TEL : 082-546-2301
FAX : 082-546-2302

福岡ショールーム

ADD : 福岡県福岡市中央区天神 4-6-7
天神クリスタルビル 12F
TEL : 092-518-1800
FAX : 092-518-1801

trends
Inspirations JAPAN

デンツプライシロナ株式会社
〒106-0041
東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル
TEL : 03-5114-1001
FAX : 03-5114-1041
www.dentsplysirona.com

Dentsply
Sirona

※著作権法により無断転載、複製は禁止されています。